

歯科補綴学 1

| | | |
|-----|----|-----------------|
| 年次 | 学期 | 学則科目責任者 |
| 3年次 | 通年 | 河相 安彦 (有床義歯補綴学) |

| | |
|-----------------|---|
| 学修目標 (GIO) と単位数 | <p>【学習目標】 咬合・咀嚼障害の病因および病態の適切な診断とそれに伴う機能・形態・心理社会的障害の回復を目的とした治療計画の立案および処置を行うために必要な補綴学に関する知識・技能および態度を修得する。 【単位数：9】</p> |
| 評価方法 (EV) | <p>平常試験 (平常試験①～⑥の平均：50%)、実習 (補綴学導入・顎口腔系の機能学・有床義歯補綴学・クラウン補綴学における実習評価、実技試験およびグループワークの評価など：50%) を最終評価とする。 ただし、講義・実習それぞれ 1/5 以上欠席した場合、評価点は 0-60 点とする。また、講義・実習いずれかが合格点に達しない場合、評価点は 60 点未満とする。なお、平常試験の再試験は行わない。</p> |

歯科補綴学導入

| | | |
|-----|----|-----------------|
| 年次 | 学期 | 学修ユニット責任者 |
| 3年次 | 通年 | 河相 安彦 (有床義歯補綴学) |

| | |
|------------------|---|
| 学修ユニット学修目標 (GIO) | 咬合・咀嚼障害の病因および病態の適切な診断とそれに伴う機能・形態・心理社会的障害の回復を目的とした治療計画の立案および処置を行うために必要な補綴学に関する基本的な知識・技能および態度を修得する。 |
| 担当教員 | 河相 安彦、飯島 守雄、大久保 昌和、木本 統、伊藤 誠康、石井 智浩 |
| 教科書 | 無歯顎補綴治療学第3版 市川哲雄ほか編 医歯薬出版 ISBN978-4-263-45792-4 歯学生のパーシャルデンチャー第5 三谷春保ほか編 医歯薬出版 ISBN978-4-263-45624-8 クラウンブリッジ補綴学 第5版 矢谷博文ほか編 医歯薬出版 ISBN978-4-263-45783-2 |
| 参考図書 | 口腔顔面痛の診断と治療ガイドブック 第2版 日本口腔顔面痛学会 編 医歯薬出版 ISBN978-4-263-44478-8 TMDを知る 改訂第2版 井川雅子 大久保昌和 ほか クインテッセンス出版 ISBN978-4-7812-0208-2 新編 顎関節症 覚道健治ほか 永末書店 ISBN978-4-8160-1261-7 |
| 評価方法 (EV) | 平常試験 (平常試験①～⑥の平均：50%)、実習 (補綴学導入・顎口腔系の機能学・有床義歯補綴学・クラウン補綴学における実習評価、実技試験およびPBLの評価など：50%) を最終評価とする。ただし、講義・実習それぞれ 1/5 以上欠席した場合、評価点は 0-60 点とする。また、講義・実習いずれかが合格点に達しない場合、評価点は 60 点未満とする。なお、平常試験の再試験は行わない。 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|---|--|---|
| 2018/04/06 (金) 1時限 09:00～10:30 | <p>【歯科補綴学導入】 歯科補綴学、補綴歯科治療の意義・目的 補綴学 1 オリエンテーション</p> | <p>【授業の一般目標】 補綴治療を円滑に行うために補綴治療の役割と患者への貢献に関する知識および態度を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 歯科補綴学、補綴歯科治療の定義を説明できる 2. 補綴歯科治療と健康科学との関係を説明できる。 3. 補綴歯科治療の利益と不利益を説明できる。 4. 補綴歯科治療に関連する疫学を説明できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯学生のパーシャルデンチャー：1章、2章 無歯顎補綴治療学：1章-I, II</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 301教室：講義</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 ケ 歯・歯周組織に対する基本的処置 b 歯の硬組織疾患の治療</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技</p> | 河相 安彦 會田 雅啓 小林 平 小見山 道 大久保 昌和 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|--|---|--|
| 2018/04/06 (金) 1時限 09:00～10:30 | 【歯科補綴学導入】 歯科補綴学、補綴歯科治療の意義・目的 補綴学1オリエンテーション | ケ 歯・歯周組織に対する基本的処置 e 歯の欠損の治療 f 不正咬合の治療 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 ①クラウンブリッジの意義と具備条件を説明できる。 E-3-4) - (2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) ①歯の欠損、顎骨・顔面の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。 ②可撤性義歯の種類、目的及び意義を説明できる。 | 河相 安彦 會田 雅啓 小林 平 小見山 道 大久保 昌和 |
| 2018/04/10 (火) 2時限 10:40～12:10 | 【有床導入】 補綴歯科治療に関わる顎口腔系の障害と口腔顔面痛 | 【授業の一般目標】 補綴歯科治療に関わる顎口腔系の障害と口腔顔面痛の診断を行えるようになるために口腔外診察を体験し知識と技能を習得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 歯の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。 2. 口腔・顔面痛について概説できる。 3. 主要な身体診察を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 口腔顔面痛の診断と治療ガイドブック 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 301教室：講義 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 1 病態 カ 口腔機能障害・口腔顔面痛 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (9) 神経疾患 ①口腔顔面痛を説明できる。 | 大久保 昌和 |
| 2018/04/10 (火) 3時限 13:10～14:40 | 【有床導入 実-1】 口腔外診察 | 【授業の一般目標】 補綴歯科治療に関わる顎口腔系の障害と口腔顔面痛の診断を行えるようになるために口腔外診察を体験し知識と技能を習得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 歯の欠損に伴う歯・口腔・顎顔面領域の変化に対して必要な診察、検査ならびに診断ができる。 2. 咬合異常と咀嚼障害の原因と診察、検査、診断および治療方針を説明できる。 3. 頭頸部の診察ができる 頭頸部の診察ができる 【準備学修項目と準備学修時間】 クラウンブリッジ補綴学P22-31、歯学生のパーシャルデンチャーP121-136、無歯顎補綴治療学P56-83 口腔顔面痛の診断と治療ガイドブック第2版 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 301教室、第5実習室 有 実習 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 301教室、第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論V 診察 1 診察総論 イ 診察の基本 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論V 診察 1 診察総論 ウ 全身の診察 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (9) 神経疾患 ①口腔顔面痛を説明できる。 | 河相 安彦 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 中田 浩史 石井 智浩 矢崎 貴啓 井上 正安 小出 恭代 北村 彩 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 中島 義雄 小川 晃奈 石渡 幸志 木村 純 宮内 良樹 佐藤 佳奈美 齋藤 由貴 |
| 2018/04/10 (火) 4時限 14:50～16:20 | 【有床導入 実-1】 口腔外診察 | 【授業の一般目標】 補綴歯科治療に関わる顎口腔系の障害と口腔顔面痛の診断を行えるようになるために口腔外診察を体験し知識と技能を習得する。 | 河相 安彦 飯島 守雄 木本 統 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|----|-----------------------------|---|---|
| | <p>【有床導入 実-1】 口腔外診察</p> | <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯の欠損に伴う歯・口腔・顎顔面領域の変化に対して必要な診察、検査ならびに診断ができる。 2. 咬合異常と咀嚼障害の原因と診察、検査、診断および治療方針を説明できる。 3. 頭頸部の診察ができる 頭頸部の診察ができる</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 クラウンブリッジ補綴学P22-31、歯学生のパーシャルデンチャーP121-136、無歯顎補綴治療学P56-83 口腔顔面痛の診断と治療ガイドブック第2版</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 301教室、第5実習室 有 実習</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論V 診察 1 診察総論 イ 診察の基本</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論V 診察 1 診察総論 ウ 全身の診察</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (9) 神経疾患 ①口腔顔面痛を説明できる。</p> | <p>伊藤 誠康 大久保 昌和 中田 浩史 石井 智浩 矢崎 貴啓 井上 正安 小出 恭代 北村 彩 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 中島 義雄 小川 晃奈 石渡 幸志 木村 純 宮内 良樹 佐藤 佳奈美 齋藤 由貴</p> |

有床義歯補綴学

| | | |
|-----|----|-----------------|
| 年次 | 学期 | 学修ユニット責任者 |
| 3年次 | 通年 | 河相 安彦 (有床義歯補綴学) |

| | |
|--------------------------|--|
| 学修ユニット 学修目標 (GIO) | 全部および部分無歯顎者の病因および病態の診断と、それに伴う機能・形態・心理社会的障害の回復を目的とした治療計画の立案および処置を行うために必要な有床義歯補綴学(総義歯および局部床義歯)に関する知識・技能および態度を修得する。 |
| 担当教員 | 河相 安彦、飯島 守雄、木本 統、伊藤 誠康、大久保 昌和、中田 浩史、石井 智浩、矢崎 貴啓、井上 正安、小出 恭代、渡邊 丈紘、※北村 彩、古賀 麻奈花、中島 義雄、小川 晃奈、石渡 幸志、木村 純、佐藤 佳奈美、齋藤 由貴、宮内 良樹、鈴木 亜沙子、小川 貴大 |
| 教科書 | 無歯顎補綴治療学第3版 市川哲雄ほか 医歯薬出版 ISBN978-4-263-45792-4 歯学生のパーシャルデンチャー第5版 三谷春保ほか 医歯薬出版 ISBN978-4-263-45624-8 困ったときにSEOAPで解決 有床義歯トラブルシューティング 河相安彦ほか 永末書店 ISBN 978-4-8160-1337-9 総義歯補綴学実習便覧 第2版 有床義歯補綴学講座編 有床義歯補綴学講座 局部床義歯補綴学実習要綱 有床義歯補綴学講座編 有床義歯補綴学講座編 |
| 参考図書 | コンプリートデンチャーテクニック 第6版 細井紀雄ほか 医歯薬出版 ISBN978-4-263-45646-0 パーシャルデンチャーテクニック 第5版 五十嵐順正ほか 医歯薬出版 ISBN978-4-263-45660-6 スタンダードパーシャルデンチャー補綴学第3版 藍 稔ほか 学建書院 ISBN978-4-7624-2656-8 バウチャー無歯顎患者の補綴治療 第12版 田中久敏ほか監訳 医歯薬出版 ISBN978-4-263-45618-7 スタンダード歯科理工学 第6版 中島 裕ほか 学建書院 ISBN978-4-7624-4614-6 補綴臨床 なぜ壊れ、どう直すのか Denture Repair 村田比呂司・馬場一美 医歯薬出版 08124-05 Implant Overdentures: The Standard of Care for Edentulous Patients Feine JS, Carlsson GE Quintessence Publishing 978-0-86715-430-6 |
| 評価方法 (EV) | 平常試験(平常試験①～⑥の平均:50%)、実習(補綴学導入・顎口腔系の機能学・有床義歯補綴学・クラウン補綴学における実習評価、実技試験およびPBLの評価など:50%)を最終評価とする。ただし、講義・実習それぞれ1/5以上欠席した場合、評価点は0-60点とする。また、講義・実習いずれかが合格点に達しない場合、評価点は60点未満とする。なお、平常試験の再試験は行わない。 |
| 学生への メッセージ オフィスアワー | 有床義歯補綴は壮年者から高齢者の生活の質(QOL)向上に重要な役割を果たしていることが明らかになっています。今回の学修により多くの症例に対応できる基本を修得することを期待します。講義・実習ともに Web class を用いた予習・復習を必ず行ってください。また解剖学および歯科理工学の知識を整理しておくことで理解が深まります。今回の学修とその後の生涯にわたる研修を通じて、様々な症例に対応できるよう、学修に際して常に実際の患者を意識して行ってください。 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|-------------------------------|--|-------|
| 2018/04/17 (火) 2時限 10:40～12:10 | 【有床1】 障害の種類と主要症候の診察と検査〔症状と徴候〕 | <p>【授業の一般目標】 有床義歯補綴の治療を円滑に行うために必要な全部および部分無歯顎者の障害、病態および加齢変化について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 有床可撤性義歯の目的と意義および具備条件を説明できる。 2. 歯列部分欠損および無歯顎の病態について説明できる。 3. 歯列部分欠損および無歯顎による障害の種類を説明できる。 4. 歯列部分欠損および無歯顎者の主要症候を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 無歯顎補綴治療学: 1章-IV 歯学生のパーシャルデンチャー: 5章</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 301教室: 講義 あり: ビアインストラクション</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 1 病態 ア 咬合・咀嚼障害</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 1 病態 ウ 構音・発語障害 エ 審美障害 オ 心理社会的障害</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療</p> | 河相 安彦 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|-------------------------------|--|-----------------|
| 2018/04/17 (火) 2時限 10:40～12:10 | 【有床1】 障害の種類と主要症候の診察と検査〔症状と徴候〕 | E-3-4)-(2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) ①歯の欠損、顎骨・顔面の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。 | 河相 安彦 |
| 2018/04/17 (火) 3時限 13:10～14:40 | 【有床2】 歯の欠損による障害の病因と病態と診断 | <p>【授業の一般目標】 障害・病因・病態・治療に対する治療法の計画を立案できるために必要な知識・技能及び態度を修得する</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯質・歯・顎顔面欠損に伴う咬合咀嚼障害の病態を説明できる。 2. 歯質・歯・顎顔面欠損に伴う構音発音障害の病態を説明できる。 3. 歯質・歯・顎顔面欠損に伴う審美障害を説明できる。 4. 歯質・歯・顎顔面欠損に伴う心理社会的障害を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 無歯顎補綴治療学第1章-II 30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 301教室：講義 あり：ピアインストラクション</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 1 病態 ア 咬合・咀嚼障害</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 1 病態 ウ 構音・発音障害 エ 審美障害 オ 心理社会的障害 カ 口腔機能障害・口腔顔面痛</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) ①歯の欠損、顎骨・顔面の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。 ②可撤性義歯の種類、目的及び意義を説明できる。</p> | 河相 安彦 大久保 昌和 |
| 2018/04/17 (火) 4時限 14:50～16:20 | 【有床3】 有床義歯の目的と意義・様々な義歯による治療法 | <p>【授業の一般目標】 障害・病因・病態・治療に対する治療法の計画を立案できるために必要な知識・技能及び態度を修得する</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 特殊な補綴装置による治療法を列挙できる。 2. 複製義歯の要件を説明できる。 3. 金属床義歯の利点を説明できる。 4. 即時義歯の手順を説明できる。 5. 顎顔面補綴装置の治療ゴールを述べることができる。 6. インプラント義歯の利点を述べることができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 無歯顎補綴治療学(第3版) p263～302</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 講義</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 2 診察、検査、診断 エ 治療計画の立案</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 7 特殊な装置による治療 ア 顎顔面補綴装置</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) ②可撤性義歯の種類、目的及び意義を説明できる。</p> | 河相 安彦 |
| 2018/04/24 (火) | 【PD-1】 局部床義 | 【授業の一般目標】 | 飯島 守雄 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|---------------------------------|---|---|
| 2時限 10:40～12:10 | 歯の目的と意義、 適応症および種類 | <p>歯列部分欠損の特性を理解し、喪失した機能および形態を回復するための方法、手技を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 歯列部分欠損の病態を説明できる。 2. 部分歯列欠損の機能障害、形態変化を説明できる。 3. 歯列部分欠損を有する患者の機能回復の方法を説明できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>部分的な歯の欠損の病態、人工的に補う方法を学修しておく。 60分。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>講義、臨床写真 有：ピアインストラクション</p> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>301教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 2 口腔・顎顔面領域の疾患の病因・病態 イ 歯の喪失に伴う口腔・顎・顔面の変化 a 口腔の変化</p> <p>【国家試験出題基準（副）】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 2 診察、検査、診断 ウ 診断</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ②可撤性義歯の種類、目的及び意義を説明できる。</p> | 飯島 守雄 |
| 2018/04/24 (火) 3時限 13:10～14:40 | 【PD実-1】 概形 印象採得と研究用 模型の製作 | <p>【授業の一般目標】</p> <p>局部床義歯の検査を行うために必要な研究模型を適性に製作する概形印象採得法を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 下顎部分欠損の概形印象を採得できる。 2. 下顎部分欠損の研究用模型を調製できる。 3. 第1回評価表にチェックを受ける。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>概形印象採得、研究模型製作 有：実習</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>実習書第1回概形印象、研究模型の製作、Web-classの予習項目（予備印象、研究模型の調整）</p> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>301教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 イ 臨床操作 b 印象採得</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ⑥可撤性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。</p> | 河相 安彦 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 中田 浩史 石井 智浩 矢崎 貴啓 井上 正安 小出 恭代 北村 彩 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 中島 義雄 小川 晃奈 石渡 幸志 木村 純 齋藤 良樹 佐藤 佳奈美 藤 由貴 |
| 2018/04/24 (火) 4時限 14:50～16:20 | 【PD実-1】 概形 印象採得と研究用 模型の製作 | <p>【授業の一般目標】</p> <p>局部床義歯の検査を行うために必要な研究模型を適性に製作する概形印象採得法を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 下顎部分欠損の概形印象を採得できる。 2. 下顎部分欠損の研究用模型を調製できる。 3. 第1回評価表にチェックを受ける。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>概形印象採得、研究模型製作 有：実習</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>実習書第1回概形印象、研究模型の製作、Web-classの予習項目（予備印象、研究模型の調整）</p> | 河相 安彦 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 中田 浩史 石井 智浩 矢崎 貴啓 井上 正安 小出 恭代 北村 彩 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 中島 義雄 小川 晃奈 石渡 幸志 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|---|---|---|
| 2018/04/24 (火) 4時限 14:50～16:20 | 【PD実-1】 概形 印象採得と研究用 模型の製作 | <p>【学修方略 (L S)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 イ 臨床操作 b 印象採得</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) ⑥可撤性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。</p> | 木村 純 宮内 良樹 佐藤 佳奈美 齋藤 由貴 |
| 2018/05/01 (火) 2時限 10:40～12:10 | 【PD-2】 局部床 義歯の診査・治療 計画・概形印象と 研究模型・サベ イニング | <p>【授業の一般目標】 局部床義歯治療のために行う検査と診査・診断に基づく治療計画の立案方法について理解する。局部床義歯の設計に必要なサベイングについて理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 局部床義歯治療のために行う検査を列挙できる。 2. サベイングの目的を説明できる。 3. サベイングの手順を説明できる。 4. 欠損歯列の診査・診断について説明できる。 5. 局部床義歯の設計について説明できる。 6. 仮設計により必要な前処置について説明できる。 7. 局部床義歯治療の治療計画について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯学生のパーシャルデンチャーP121-136、p169-174</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 301教室 あり:ピアインストラクション</p> <p>【学修方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 ア 義歯の設計 a 設計の原則</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 2 診査、検査、診断 エ 治療計画の立案</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) ⑤可撤性義歯の設計原則を説明できる。 ④可撤性義歯の要素構成と支持、把持、維持の機構を説明できる。</p> | 石井 智浩 |
| 2018/05/01 (火) 3時限 13:10～14:40 | 【PD実-2】 サベ イニング・設計線の 記入・個人トレー | <p>【授業の一般目標】 局部床義歯治療のために行う検査と診査・診断に基づく治療計画の立案方法について理解する。 局部床義歯治療の設計に必要なサベイングの方法を修得する。 局部床義歯の精密印象採得に適した個人トレーの形態と製作方法を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 下顎部分欠損のサベイングができる 2. 下顎部分欠損の仮設計ができる。 3. 下顎部分欠損の個人トレーを調製できる。 4. 第2回評価表のサベイング、仮設計にチェックを受ける。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 サベイング、仮設計、個人トレー</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実習書第2回サベイング、仮設計、個人トレー、Web-classの予習項目 (サベイング、設計線の記入、個人トレーの製作) あり:反転授業・実習</p> <p>【学修方略 (L S)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> | 河相 安彦 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 中田 浩史 石井 智浩 矢崎 貴啓 井上 正安 小出 恭代 北村 彩 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 中島 義雄 小川 晃奈志 石渡 幸志 木村 純 宮内 良樹 齋藤 佳奈美 齋藤 由貴 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|--|--|--|
| 2018/05/01 (火) 3時限 13:10～14:40 | 【PD実-2】 サベ イング・設計線の 記入・個人トレー | <p>歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 ア 義歯の設計 a 設計の原則</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 ウ 技工操作 a 個人トレーの製作 d サベイング、設計線の記入</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ④可撤性義歯の要素構成と支持、把持、維持の機構を説明できる。 ⑤可撤性義歯の設計原則を説明できる。</p> | <p>河相 安彦 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 中田 浩史 石井 智浩 矢崎 貴啓 井上 正安 小出 恭代 北村 彩 渡邊 丈紘 古賀 麻奈 中島 義雄 小川 晃奈 石渡 幸志 木村 純 宮内 良樹 佐藤 佳奈 齋藤 由貴</p> |
| 2018/05/01 (火) 4時限 14:50～16:20 | 【PD実-2】 サベ イング・設計線の 記入・個人トレー | <p>【授業の一般目標】 局部床義歯治療のために行う検査と診査・診断に基づく治療計画の立案方法につ いて理解する。 局部床義歯治療の設計に必要なサベイングの方法を修得する。 局部床義歯の精密印象採得に適した個人トレーの形態と製作方法を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 下顎部分欠損のサベイングができる 2. 下顎部分欠損の仮設計ができる。 3. 下顎部分欠損の個人トレーを調製できる。 4. 第2回評価表のサベイング、仮設計にチェックを受ける。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 サベイング、仮設計、個人トレー</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実習書第2回サベイング、仮設計、個人トレー、Web-classの予習項目（サベ イング、設計線の記入、個人トレーの製作） あり：反転授業・実習</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 ア 義歯の設計 a 設計の原則</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 ウ 技工操作 a 個人トレーの製作 d サベイング、設計線の記入</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ④可撤性義歯の要素構成と支持、把持、維持の機構を説明できる。 ⑤可撤性義歯の設計原則を説明できる。</p> | <p>河相 安彦 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 中田 浩史 石井 智浩 矢崎 貴啓 井上 正安 小出 恭代 北村 彩 渡邊 丈紘 古賀 麻奈 中島 義雄 小川 晃奈 石渡 幸志 木村 純 宮内 良樹 佐藤 佳奈 齋藤 由貴</p> |
| 2018/05/08 (火) 2時限 10:40～12:10 | 【有床4】 障害・ 病因・病態・治療 に関するグループ ワーク | <p>【授業の一般目標】 障害・病因・病態・治療に対する治療法の計画を立案できるために必要な知 識・技能及び態度を修得する</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 歯質・歯・顎顔面欠損に伴う咬合咀嚼障害の病態を説明できる。 2. 歯質・歯・顎顔面欠損に伴う構音発音障害の病態を説明できる。 3. 歯質・歯・顎顔面欠損に伴う審美障害を説明できる。 4. 歯質・歯・顎顔面欠損に伴う心理社会的障害を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 クラウンブリッジ補綴学P22-31、歯学生のパーシャルデンチャーP121-136、無 歯顎補綴治療学P56-83</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 第5実習室 有 実習</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> | <p>河相 安彦 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 中田 浩史 石井 智浩 矢崎 貴啓 井上 正安 小出 恭代 北村 彩 渡邊 丈紘 古賀 麻奈 中島 義雄 小川 晃奈 石渡 幸志 木村 純 宮内 良樹 佐藤 佳奈 齋藤 由貴</p> |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|---|--|--|
| 2018/05/08 (火) 2時限 10:40～12:10 | 【有床4】障害・ 病因・病態・治療 に関するグループ ワーク | <p>歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 1 病態 ア 咬合・咀嚼障害</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 1 病態 ウ 構音・発語障害 エ 審美障害 オ 心理社会的障害 カ 口腔機能障害・口腔顔面痛</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ①歯の欠損、顎骨・顔面の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。 ②可撤性義歯の種類、目的及び意義を説明できる。</p> | <p>河相 安彦 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 中田 浩史 石井 智浩 矢崎 貴啓 井上 正安 小出 恭代 北村 彩 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 中島 義雄 小川 晃奈 石渡 幸志 木村 純 宮内 良樹 佐藤 佳奈美 齋藤 由貴</p> |
| 2018/05/08 (火) 3時限 13:10～14:40 | 【PD実-3】マウス プレパレーション | <p>【授業の一般目標】 局部床義歯製作のために必要なサベイング検査に基づいて義歯の設計線の設定 出来る知識と技能を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 下顎部分欠損のサベイングができる 2. 下顎部分欠損の仮設計ができる。 3. 下顎部分欠損の個人トレーを調製できる。 4. 第2回評価表のサベイング、仮設計にチェックを受ける。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 サベイング、仮設計、個人トレー</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実習書第2回サベイング、仮設計、個人トレー、Web-classの予習項目（サベ イニング、設計線の記入、個人トレーの製作） 有：反転授業・実習</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 イ 臨床操作 a 前処置</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ④可撤性義歯の要素構成と支持、把持、維持の機構を説明できる。 ⑤可撤性義歯の設計原則を説明できる。</p> | <p>河相 安彦 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 中田 浩史 石井 智浩 矢崎 貴啓 井上 正安 小出 恭代 北村 彩 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 中島 義雄 小川 晃奈 石渡 幸志 木村 純 宮内 良樹 佐藤 佳奈美 齋藤 由貴</p> |
| 2018/05/08 (火) 4時限 14:50～16:20 | 【PD実-3】マウス プレパレーション | <p>【授業の一般目標】 局部床義歯製作のために必要なサベイング検査に基づいて義歯の設計線の設定 出来る知識と技能を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 下顎部分欠損のサベイングができる 2. 下顎部分欠損の仮設計ができる。 3. 下顎部分欠損の個人トレーを調製できる。 4. 第2回評価表のサベイング、仮設計にチェックを受ける。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 サベイング、仮設計、個人トレー</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実習書第2回サベイング、仮設計、個人トレー、Web-classの予習項目（サベ イニング、設計線の記入、個人トレーの製作） 有：反転授業・実習</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 イ 臨床操作 a 前処置</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療</p> | <p>河相 安彦 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 中田 浩史 石井 智浩 矢崎 貴啓 井上 正安 小出 恭代 北村 彩 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 中島 義雄 小川 晃奈 石渡 幸志 木村 純 宮内 良樹 佐藤 佳奈美 齋藤 由貴</p> |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|--|---|--|
| 2018/05/08 (火) 4時限 14:50～16:20 | 【PD実-3】マウス プレパレーション | E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) ④可撤性義歯の要素構成と支持、把持、維持の機構を説明できる。 ⑤可撤性義歯の設計原則を説明できる。 | 河相 安彦 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 中田 浩史 石井 智浩 矢崎 貴啓 井上 正安 小出 恭代 北村 彩 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 中島 義雄 小川 晃奈 石渡 幸志 木村 純 宮内 良樹 佐藤 佳奈美 齋藤 由貴 |
| 2018/05/15 (火) 2時限 10:40～12:10 | 【PD-3】 局部床 義歯の設計の原則 と構成要素と支持・ 把持・維持 | 【授業の一般目標】 歯列の部分欠損を補う義歯の設計の原則を修得する。 可撤性部分床義歯の支持、把持、維持性能について説明できる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 可撤性部分床義歯の設計の原則を理解する。 2. 可撤性部分床義歯の支持性能について説明できる。 3. 可撤性部分床義歯の把持性能について説明できる。 4. 可撤性部分床義歯の維持性能について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 可撤性部分床義歯の挙動、設計について 60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 講義 有：ピアインストラクション 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 ア 義歯の設計 a 設計の原則 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) ⑤可撤性義歯の設計原則を説明できる。 ④可撤性義歯の要素構成と支持、把持、維持の機構を説明できる。 | 飯島 守雄 |
| 2018/05/15 (火) 3時限 13:10～14:40 | 【有床5】 障害・ 病因・病態・治療 に関するグループ 発表 | 【授業の一般目標】 障害・病因・病態・治療に対する治療法の計画を立案できるために必要な知識・技能及び態度を修得する 【行動目標 (SBOs)】 1. 歯質・歯・顎顔面欠損に伴う咬合咀嚼障害の病態を説明できる。 2. 歯質・歯・顎顔面欠損に伴う構音発音障害の病態を説明できる。 3. 歯質・歯・顎顔面欠損に伴う審美障害を説明できる。 4. 歯質・歯・顎顔面欠損に伴う心理社会的障害を説明できる。 5. 歯質・歯・顎顔面欠損に関する診察と検査法を説明できる。 6. 歯質・歯・顎顔面欠損の検査結果の評価に基づき診断と治療計画の立案ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 エキスパートグループでまとめた知識の整理と発表の準備 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 あり：グループワーク 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 1 病態 ア 咬合・咀嚼障害 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 1 病態 ウ 構音・発音障害 エ 審美障害 | 河相 安彦 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 中田 浩史 石井 智浩 矢崎 貴啓 井上 正安 小出 恭代 北村 彩 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 中島 義雄 小川 晃奈 石渡 幸志 木村 純 宮内 良樹 佐藤 佳奈美 齋藤 由貴 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|---|--|---|
| 2018/05/15 (火) 3時限 13:10~14:40 | 【有床5】 障害・ 病因・病態・治療 に関するグループ 発表 | オ 心理社会的障害 カ 口腔機能障害・口腔顔面痛 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) ①歯の欠損、顎骨・顔面の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。 ②可撤性義歯の種類、目的及び意義を説明できる。 | 河相 安彦 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠 大久保 昌和 中田 浩史 石井 智浩 矢崎 貴啓 井上 正安 小出 恭代 北村 彩 渡邊 丈紘 古賀 麻奈 中島 義雄 小川 晃奈 石渡 幸志 木村 純 宮内 良樹 佐藤 佳奈 齋藤 由貴 |
| 2018/05/15 (火) 4時限 14:50~16:20 | 【有床5】 障害・ 病因・病態・治療 に関するグループ 発表 | 【授業の一般目標】 障害・病因・病態・治療に対する治療法の計画を立案できるように必要な知識・技能及び態度を修得する 【行動目標 (SBOs)】 1. 歯質・歯・顎顔面欠損に伴う咬合咀嚼障害の病態を説明できる。 2. 歯質・歯・顎顔面欠損に伴う構音発音障害の病態を説明できる。 3. 歯質・歯・顎顔面欠損に伴う審美障害を説明できる。 4. 歯質・歯・顎顔面欠損に伴う心理社会的障害を説明できる。 5. 歯質・歯・顎顔面欠損に関する診察と検査法を説明できる。 6. 歯質・歯・顎顔面欠損の検査結果の評価に基づき診断と治療計画の立案ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 エキスパートグループでまとめた知識の整理と発表の準備 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 あり：グループワーク 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 1 病態 ア 咬合・咀嚼障害 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 1 病態 ウ 構音・発音障害 エ 審美障害 オ 心理社会的障害 カ 口腔機能障害・口腔顔面痛 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) ①歯の欠損、顎骨・顔面の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。 ②可撤性義歯の種類、目的及び意義を説明できる。 | 河相 安彦 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠 大久保 昌和 中田 浩史 石井 智浩 矢崎 貴啓 井上 正安 小出 恭代 北村 彩 渡邊 丈紘 古賀 麻奈 中島 義雄 小川 晃奈 石渡 幸志 木村 純 宮内 良樹 佐藤 佳奈 齋藤 由貴 |
| 2018/05/22 (火) 2時限 10:40~12:10 | 【PD-4】有床義 歯の口腔内前処置 (広義・狭義) | 【授業の一般目標】 歯列の全部および部分欠損に対する口腔内前処置に関する知識を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 口腔内前処置を定義できる 2. 広義の口腔内前処置を列挙できる 3. 狭義の口腔内前処置を列挙できる 4. 局部床義歯に特異的な口腔内前処置を説明できる 5. 総義歯に特異的な口腔内前処置を説明できる 6. 有床義歯に関わる粘膜病変を説明できる 【準備学修項目と準備学修時間】 無歯顎補綴治療学：3章 (P84~91) 歯学生のパーシャルデンチャー：12~14章 (P88-109), 17~19章 (P137-145, 146, 150-157,) 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 301教室 有：ピアインストラクション 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 | 大久保 昌和 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|--|---|---|
| 2018/05/22 (火) 2時限 10:40～12:10 | 【PD-4】有床義歯の口腔内前処置(広義・狭義) | <p>歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 イ 臨床操作 a 前処置</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) ④可撤性義歯の要素構成と支持、把持、維持の機構を説明できる。</p> | 大久保 昌和 |
| 2018/05/22 (火) 3時限 13:10～14:40 | 【PD実-4】支台歯に対する前処置・筋圧形成・精密印象・ボクシング・作業模型 | <p>【授業の一般目標】 歯列の部分欠損に必要な精密印象法に関する理論、手技を修得する。 適切な作業模型の制作方法を修得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 支台歯に対する前処置ができる。 2. 下顎部分欠損の筋圧形成を行うことができる。 3. 下顎部分欠損の精密印象を採得できる。 4. 下顎部分欠損の作業用模型を調製できる。 5. 第2回評価表の個人トレーにチェックを受ける。 6. 第3回評価表にチェックを受ける。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 マウスプレパレーション、筋圧形成、精密印象、作業模型</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実習書第3回歯冠形態修正、最終印象、作業模型、Web-classの予習項目(鈎歯の形成、筋形成、最終印象) 有：反転授業・実習</p> <p>【学修方略(LS)】 実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 イ 臨床操作 b 印象採得</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 ウ 技工操作 b 作業用模型の製作</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) ⑥可撤性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。</p> | <p>河相 安彦 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 中田 浩史 石井 智浩 矢崎 貴啓 井上 正安 小出 恭代 北村 彩 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 中島 義雄 小川 晃奈 石渡 幸志 木村 純 宮内 良樹 佐藤 佳奈 齋藤 由貴</p> |
| 2018/05/22 (火) 4時限 14:50～16:20 | 【PD実-4】支台歯に対する前処置・筋圧形成・精密印象・ボクシング・作業模型 | <p>【授業の一般目標】 歯列の部分欠損に必要な精密印象法に関する理論、手技を修得する。 適切な作業模型の制作方法を修得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 支台歯に対する前処置ができる。 2. 下顎部分欠損の筋圧形成を行うことができる。 3. 下顎部分欠損の精密印象を採得できる。 4. 下顎部分欠損の作業用模型を調製できる。 5. 第2回評価表の個人トレーにチェックを受ける。 6. 第3回評価表にチェックを受ける。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 マウスプレパレーション、筋圧形成、精密印象、作業模型</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実習書第3回歯冠形態修正、最終印象、作業模型、Web-classの予習項目(鈎歯の形成、筋形成、最終印象) 有：反転授業・実習</p> <p>【学修方略(LS)】 実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 イ 臨床操作 b 印象採得</p> | <p>河相 安彦 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 中田 浩史 石井 智浩 矢崎 貴啓 井上 正安 小出 恭代 北村 彩 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 中島 義雄 小川 晃奈 石渡 幸志 木村 純 宮内 良樹 佐藤 佳奈 齋藤 由貴</p> |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|--|---|--|
| 2018/05/22 (火) 4時限 14:50～16:20 | 【PD実-4】支台歯に対する前処置・筋圧形成・精密印象・ボクシング・作業模型 | <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 ウ 技工操作 b 作業用模型の製作</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ⑥可撤性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。</p> | 河相 安彦 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 中田 浩史 石井 智浩 矢崎 貴啓 井上 正安 小出 恭代 北村 彩 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 中島 義雄 小川 晃奈 石渡 幸志 木村 純 宮内 良樹 佐藤 佳奈美 齋藤 由貴 |
| 2018/05/29 (火) 2時限 10:40～12:10 | 【PD-5】局部床義歯の精密印象と作業模型 | <p>【授業の一般目標】 歯列の部分欠損に必要な精密印象法に関する理論、手技および使用材料について理解する。 精密印象から製作する作業模型に必要な要件を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 歯根膜負担、粘膜負担、歯根膜粘膜負担義歯について説明できる。 2. 個人トレーを用いた機能印象を説明できる。 3. 印象用材料について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯学生のパーシャルデンチャー12～14章（P88-109），20章（158-168）</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 301教室：講義 有：ピアインストラクション</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 イ 臨床操作 b 印象採得</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ⑥可撤性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。 ④可撤性義歯の要素構成と支持、把持、維持の機構を説明できる。</p> | 大久保 昌和 |
| 2018/05/29 (火) 3時限 13:10～14:40 | 【PD実-5】支台歯に対する前処置・筋圧形成・精密印象・ボクシング・作業模型 | <p>【授業の一般目標】 歯列の部分欠損に必要な精密印象法に関する理論、手技を修得する。 適切な作業模型の制作方法を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 支台歯に対する前処置ができる。 2. 下顎部分欠損の筋圧形成を行うことができる。 3. 下顎部分欠損の精密印象を採得できる。 4. 下顎部分欠損の作業用模型を調製できる。 5. 第2回評価表の個人トレーにチェックを受ける。 6. 第3回評価表にチェックを受ける。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 マウスプレパレーション、筋圧形成、精密印象、作業模型</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実習書第3回歯冠形態修正、最終印象、作業模型、Web-classの予習項目（歯の形成、筋形成、最終印象） 有：反転授業・実習</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 イ 臨床操作 b 印象採得</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療</p> | 河相 安彦 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 中田 浩史 石井 智浩 矢崎 貴啓 井上 正安 小出 恭代 北村 彩 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 中島 義雄 小川 晃奈 石渡 幸志 木村 純 宮内 良樹 佐藤 佳奈美 齋藤 由貴 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|--|--|---|
| 2018/05/29 (火) 3時限 13:10～14:40 | 【PD実-5】支台歯に対する前処置・筋圧形成・精密印象・ボクシング・作業模型 | ウ 技工操作 b 作業用模型の製作 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) ⑥可撤性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。 | 河相 安彦 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠 大久保 康和 中田 浩史 石井 智浩 矢崎 貴啓 井上 正安 小出 恭代 北村 彩 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 中島 義雄 小川 晃奈 石渡 幸志 木村 純 宮内 良樹 佐藤 佳奈美 齋藤 由貴 |
| 2018/05/29 (火) 4時限 14:50～16:20 | 【PD実-5】支台歯に対する前処置・筋圧形成・精密印象・ボクシング・作業模型 | 【授業の一般目標】 歯列の部分欠損に必要な精密印象法に関する理論、手技を修得する。 適切な作業模型の制作方法を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 支台歯に対する前処置ができる。 2. 下顎部分欠損の筋圧形成を行うことができる。 3. 下顎部分欠損の精密印象を採得できる。 4. 下顎部分欠損の作業用模型を調製できる。 5. 第2回評価表の個人トレーにチェックを受ける。 6. 第3回評価表にチェックを受ける。 【準備学修項目と準備学修時間】 マウスプレパレーション、筋圧形成、精密印象、作業模型 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実習書第3回歯冠形態修正、最終印象、作業模型、Web-classの予習項目 (鈎歯の形成、筋形成、最終印象) 有：反転授業・実習 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 イ 臨床操作 b 印象採得 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 ウ 技工操作 b 作業用模型の製作 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) ⑥可撤性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。 | 河相 安彦 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠 大久保 康和 中田 浩史 石井 智浩 矢崎 貴啓 井上 正安 小出 恭代 北村 彩 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 中島 義雄 小川 晃奈 石渡 幸志 木村 純 宮内 良樹 佐藤 佳奈美 齋藤 由貴 |
| 2018/06/05 (火) 2時限 10:40～12:10 | 【平常試験①】 (10:40～11:30) 11:30～解説講義 | 【授業の一般目標】 患者の治療を自立して行うために必要な補綴学の基本的な知識、技能および態度を修得する 【行動目標 (SBOs)】 1. 補綴歯科治療に関わる顎口腔系の障害と口腔顔面痛について説明できる 2. 有床義歯にかかわる障害の種類を列挙できる 3. 有床義歯にかかわる障害の病因を列挙できる 4. 有床義歯にかかわる障害の病態を列挙できる 5. 様々な義歯による治療法を列挙できる 6. 有床義歯の構成要素を説明できる 7. 有床義歯の維持・支持・把持安定について説明できる 8. 医療面接と診察、評価と診断を行うことができる 9. 口腔外診察の項目を列挙できる 10. 口腔内診察の項目を列挙できる 【準備学修項目と準備学修時間】 範囲：有床導入、有床1～5 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 10:40～11:30：平常試験：301教室 あり：ピアインストラクション 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 301教室 | 飯島 守雄 河相 安彦 木本 統 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|--|--|--|
| 2018/06/05 (火) 2時限 10:40～12:10 | 【平常試験①】 (10:40～11:30) 11:30～解説講義 | 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) ①歯の欠損、顎骨・顔面の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。 ②可撤性義歯の種類、目的及び意義を説明できる。 | 飯島 守彦 河相 安彦 木本 統 |
| 2018/06/05 (火) 3時限 13:10～14:40 | 【PD実-6】作業模 型の完成・サベイン グ・最終設計・ ブロックアウト・ リリース | 【授業の一般目標】 作業模型にサベイングを行い適切な最終設計線の記入する方法を修得する。 設計線に基づいてブロックアウト・リリースの実施方法を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 下顎作業用模型のサベイングができる。 2. 最終設計ができる。 3. 下顎作業用模型のブロックアウトリリースができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 サベイング、義歯設計、ブロックアウト・リリース 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実習書第4回、サベイング、最終設計、ブロックアウト・リリース、Web-clas sの予習項目 (最終設計、ブロックアウト・リリース) 有：反転授業・実習 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 301教室、第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 ア 義歯の設計 a 設計の原則 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 ア 義歯の設計 b 義歯の構成要素 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) ⑥可撤性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明でき る。 | 河相 安彦 飯島 守彦 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 中田 浩史 石井 智浩 矢崎 貴啓 井上 正安 小出 恭代 北村 彩 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 中島 義雄 小川 晃奈 石渡 幸志 木村 純 宮内 良樹 佐藤 佳奈美 齋藤 由貴 |
| 2018/06/05 (火) 4時限 14:50～16:20 | 【PD実-6】作業模 型の完成・サベイン グ・最終設計・ ブロックアウト・ リリース | 【授業の一般目標】 作業模型にサベイングを行い適切な最終設計線の記入する方法を修得する。 設計線に基づいてブロックアウト・リリースの実施方法を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 下顎作業用模型のサベイングができる。 2. 最終設計ができる。 3. 下顎作業用模型のブロックアウトリリースができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 サベイング、義歯設計、ブロックアウト・リリース 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実習書第4回、サベイング、最終設計、ブロックアウト・リリース、Web-clas sの予習項目 (最終設計、ブロックアウト・リリース) 有：反転授業・実習 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 301教室、第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 ア 義歯の設計 a 設計の原則 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 ア 義歯の設計 b 義歯の構成要素 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 | 河相 安彦 飯島 守彦 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 中田 浩史 石井 智浩 矢崎 貴啓 井上 正安 小出 恭代 北村 彩 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 中島 義雄 小川 晃奈 石渡 幸志 木村 純 宮内 良樹 佐藤 佳奈美 齋藤 由貴 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|--|---|--|
| 2018/06/05 (火) 4時限 14:50～16:20 | 【PD実-6】作業模型の完成・サベイング・最終設計・ブロックアウト・リリース | E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) ⑥可撤性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。 | 河相 安彦 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 中田 浩史 石井 智浩 矢崎 貴啓 井上 正安 小出 恭代 北村 彩 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 中島 義雄 小川 晃奈 石渡 幸志 木村 純 宮内 良樹 佐藤 佳奈美 齋藤 由貴 |
| 2018/06/12 (火) 2時限 10:40～12:10 | 【PD-6】局部床義歯のフレームワークの製作, パターン採得および型ごと埋没 | 【授業の一般目標】 局部床義歯のフレームワークの製作, パターン採得および型ごと埋没を行うのに必要な補綴学の知識を習得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 局部床義歯のフレームワークを説明できる。 2. フレームワークの使用金属を説明できる。 3. フレームワークの製作順序を説明できる。 4. クラスパターン採得を説明できる。 5. 耐火模型・型ごと埋没を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 歯学生のパーシャルデンチャー: 15章 (P110-118), 22章 (175-191), 24章 (198-212) 準備学修時間 30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有: ビアインストラクション 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 301教室、第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 ウ 技工操作 e フレームワークの製作 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論VIII 歯科材料と歯科医療機器 6 歯冠修復・義歯用材料 ウ 金属材料 a 金合金 b 銀合金、金銀パラジウム合金 d コバルトクロム合金 e チタン、チタン合金 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) ⑪可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。 ⑫可撤性義歯の製作過程を説明できる。 | 伊藤 誠康 |
| 2018/06/12 (火) 3時限 13:10～14:40 | 【PD実-7】サベイング・最終設計・ブロックアウト・リリース | 【授業の一般目標】 作業模型にサベイングを行い適切な最終設計線の記入する方法を修得する。 設計線に基づいてブロックアウト・リリースの実施方法を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 下顎作業用模型のサベイングができる。 2. 最終設計ができる。 3. 下顎作業用模型のブロックアウトリリースができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 サベイング、義歯設計、ブロックアウト・リリース 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実習書第4回、サベイング、最終設計、ブロックアウト・リリース、Web-classの予習項目 (最終設計、ブロックアウト・リリース) 有: 反転授業・実習 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 | 河相 安彦 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 中田 浩史 石井 智浩 矢崎 貴啓 井上 正安 小出 恭代 北村 彩 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 中島 義雄 小川 晃奈 石渡 幸志 木村 純 宮内 良樹 佐藤 佳奈美 齋藤 由貴 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|--------------------------------|---|---|
| 2018/06/12 (火) 3時限 13:10～14:40 | 【PD実-7】サベイング・最終設計・ブロックアウト・リリース | <p>歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 ウ 技工操作 d サベイング、設計線の記入</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) ④可撤性義歯の要素構成と支持、把持、維持の機構を説明できる。 ⑤可撤性義歯の設計原則を説明できる。</p> | <p>河相 安彦 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠 大久保 康和 中田 浩史 石井 智浩 矢崎 貴啓 井上 正安 小出 恭代 北村 彩 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 中島 義雄 小川 晃奈 石渡 幸志 木村 純 宮内 良樹 佐藤 佳奈美 齋藤 由貴</p> |
| 2018/06/12 (火) 4時限 14:50～16:20 | 【PD実-7】サベイング・最終設計・ブロックアウト・リリース | <p>【授業の一般目標】 作業模型にサベイングを行い適切な最終設計線の記入する方法を修得する。 設計線に基づいてブロックアウト・リリースの実施方法を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 下顎作業用模型のサベイングができる。 2. 最終設計ができる。 3. 下顎作業用模型のブロックアウトリリースができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 サベイング、義歯設計、ブロックアウト・リリース</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実習書第4回、サベイング、最終設計、ブロックアウト・リリース、Web-classの予習項目 (最終設計、ブロックアウト・リリース) 有：反転授業・実習</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 ウ 技工操作 d サベイング、設計線の記入</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) ④可撤性義歯の要素構成と支持、把持、維持の機構を説明できる。 ⑤可撤性義歯の設計原則を説明できる。</p> | <p>河相 安彦 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠 大久保 康和 中田 浩史 石井 智浩 矢崎 貴啓 井上 正安 小出 恭代 北村 彩 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 中島 義雄 小川 晃奈 石渡 幸志 木村 純 宮内 良樹 佐藤 佳奈美 齋藤 由貴</p> |
| 2018/06/15 (金) 1時限 09:00～10:30 | 【PD-1・2・3】のまとめ講義 | <p>【授業の一般目標】 適切な部分床義歯の制作を行うためにその目的、意義、適応症を理解し構成要素と支持、把持、維持の機構と設計原則に関する知識と技能を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 部分床義歯義歯の種類、目的及び意義を説明できる。 2. 部分床義歯義歯の特徴と適応症を説明できる。 3. 部分床義歯義歯義歯の要素構成と支持、把持、維持の機構を説明できる。 4. 部分床義歯義歯義歯の設計原則を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 PD-1, 2, 3の復習 1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 あり：スマホによる双方向授業</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 2 診察、検査、診断 ウ 診断</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 2 診察、検査、診断 エ 治療計画の立案 4 部分床義歯による治療 ア 義歯の設計 a 設計の原則</p> | 飯島 守雄 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|---|---|---|
| 2018/06/15 (金) 1時限 09:00～10:30 | 【PD-1・2・3】 のまとめ講義 | 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) ②可撤性義歯の種類、目的及び意義を説明できる。 ③可撤性義歯の特徴と適応症を説明できる。 ④可撤性義歯の要素構成と支持、把持、維持の機構を説明できる。 ⑤可撤性義歯の設計原則を説明できる。 | 飯島 守雄 |
| 2018/06/19 (火) 2時限 10:40～12:10 | 【PD-7】 局部床 義歯の直接維持装 置・アタッチメン ト | 【授業の一般目標】 局部床義歯治療のために支台 (維持) 装置について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 局部床義歯の直接支台 (維持) 装置について説明できる。 2. 局部床義歯のアタッチメントについて説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 支台 (維持) 装置、アタッチメント 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 歯学生のパーソナルデンチャー: 14章 (P98～109), 24章 (198～212) 有: ビアインストラクション 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 301 教室、第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 ア 義歯の設計 b 義歯の構成要素 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) ④可撤性義歯の要素構成と支持、把持、維持の機構を説明できる。 | 飯島 守雄 |
| 2018/06/19 (火) 3時限 13:10～14:40 | 【PD実-8】 耐火模 型・クラスプとリン ガルバーのパター ン採得 | 【授業の一般目標】 局部床義歯製作のためにクラスプとリンガルバーを製作することができる。 【行動目標 (SBOs)】 1. クラスプパターンの採得ができる。 2. リンガルバーのパターン採得ができる。 3. クラスプワイヤーの屈曲ができる。 4. 評価表第5回パターン採得にチェックを受ける。 【準備学修項目と準備学修時間】 クラスプ、リンガルバー、ワイヤークラスプ 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実習書第5回パターン採得、Web-classの予習項目 (クラスプパターンの作製、 リンガルバーパターンの作製、クラスプワイヤー屈曲) 有: 反転授業・実習 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 301 教室、第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 ウ 技工操作 e フレームワークの製作 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) ④可撤性義歯の要素構成と支持、把持、維持の機構を説明できる。 ⑤可撤性義歯の設計原則を説明できる。 | 河相 安彦 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 中田 浩史 石井 智浩 矢崎 貴啓 井上 正安 小出 恭代 北村 彩 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 中島 義雄 小川 晃奈 石渡 幸志 木村 純 宮内 良樹 佐藤 佳奈 齋藤 由貴 |
| 2018/06/19 (火) 4時限 14:50～16:20 | 【PD実-8】 耐火模 型・クラスプとリン ガルバーのパター ン採得 | 【授業の一般目標】 局部床義歯製作のためにクラスプとリンガルバーを製作することができる。 【行動目標 (SBOs)】 1. クラスプパターンの採得ができる。 2. リンガルバーのパターン採得ができる。 3. クラスプワイヤーの屈曲ができる。 4. 評価表第5回パターン採得にチェックを受ける。 【準備学修項目と準備学修時間】 クラスプ、リンガルバー、ワイヤークラスプ 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 | 河相 安彦 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 中田 浩史 石井 智浩 矢崎 貴啓 井上 正安 小出 恭代 北村 彩 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|--|--|---|
| 2018/06/19 (火) 4時限 14:50～16:20 | 【PD実-8】耐火模 型・クラスプとリ ンガルバーのパター ン採得 | 実習書第5回パターン採得、Web-classの予習項目（クラスプパターンの作製、 リンガルバーパターンの作製、クラスプワイヤー屈曲） 有：反転授業・実習 【学修方略（LS）】 実習 【場所（教室/実習室）】 301教室、第5実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 ウ 技工操作 e フレームワークの製作 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ④可撤性義歯の要素構成と支持、把持、維持の機構を説明できる。 ⑤可撤性義歯の設計原則を説明できる。 | 中島 義雄 小川 晃奈 石渡 幸志 木村 純 宮内 良樹 佐藤 佳奈美 齋藤 由貴 |
| 2018/06/22 (金) 1時限 09:00～10:30 | 【PD-4・5】のま とめ講義 | 【授業の一般目標】 適切な部分床義歯の制作を行うために部分床義歯の構成要素と支持、把持、維 持の機構その設計原則を理解し、印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を 適切に扱う知識と技能を修得する。 【行動目標（SBOs）】 1. 部分床義歯の要素構成と支持、把持、維持の機構を説明できる。 2. 部分床義歯の設計原則を説明できる。 3. 部分床義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明でき る。 【準備学修項目と準備学修時間】 PD-4・5の復習 1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 あり：スマホによる双方向型授業 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 301教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 イ 臨床操作 a 前処置 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 イ 臨床操作 b 印象採得 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ④可撤性義歯の要素構成と支持、把持、維持の機構を説明できる。 ⑤可撤性義歯の設計原則を説明できる。 ⑥可撤性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明でき る。 | 大久保 昌和 |
| 2018/06/26 (火) 2時限 10:40～12:10 | 【PD-8】 局部床 義歯の間接維持装 置・連結子 | 【授業の一般目標】 局部床義歯治療の間接支台（維持）装置と連結子について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 局部床義歯の支持機構、把持機構および維持機構を説明できる。 2. 間接維持について説明できる。 3. 大連結子について説明できる。 4. 小連結子について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 間接支台（維持）装置、大連結子、小連結子 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 歯学生のパーシャルデンチャー：11章（84～87）、22章、23章（P175～197, 19 8～212） 有：ピアインストラクション 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 301教室、第5実習室 【国家試験出題基準（主）】 | 飯島 守雄 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|----------------------------------|--|---|
| 2018/06/26 (火) 2時限 10:40～12:10 | 【PD-8】 局部床義歯の間接維持装置・連結子 | <p>歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 ア 義歯の設計 a 設計の原則</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 ア 義歯の設計 b 義歯の構成要素</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ④可撤性義歯の要素構成と支持、把持、維持の機構を説明できる。</p> | 飯島 守雄 |
| 2018/06/26 (火) 3時限 13:10～14:40 | 【PD実-9】 クラスプのワックスアップ・ワイヤークラスプの屈曲 | <p>【授業の一般目標】 適合の良い局部床義歯製作のために必要なクラスプのワックスアップの手順とワイヤークラスプの屈曲法を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. クラスプパターンの採得ができる。 2. リンガルバーのパターン採得ができる。 3. クラスプワイヤーの屈曲ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 クラスプ、リンガルバー、ワイヤークラスプ</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実習書第5回パターン採得、Web-classの予習項目（クラスプパターンの作製、リンガルバーパターンの作製、クラスプワイヤー屈曲） 有：反転授業・実習</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 ウ 技工操作 e フレームワークの製作</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ④可撤性義歯の要素構成と支持、把持、維持の機構を説明できる。 ⑤可撤性義歯の設計原則を説明できる。</p> | 河相 安彦 飯島 守雄 木本 統康 伊藤 誠 大久保 昌和 中田 浩史 石井 智浩 矢崎 貴啓 井上 正安 小出 恭代 北村 彩 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 中島 義雄 小川 晃奈 石渡 幸志 木村 純 宮内 良樹 齋藤 佳奈美 |
| 2018/06/26 (火) 4時限 14:50～16:20 | 【PD実-9】 クラスプのワックスアップ・ワイヤークラスプの屈曲 | <p>【授業の一般目標】 適合の良い局部床義歯製作のために必要なクラスプのワックスアップの手順とワイヤークラスプの屈曲法を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. クラスプパターンの採得ができる。 2. リンガルバーのパターン採得ができる。 3. クラスプワイヤーの屈曲ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 クラスプ、リンガルバー、ワイヤークラスプ</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実習書第5回パターン採得、Web-classの予習項目（クラスプパターンの作製、リンガルバーパターンの作製、クラスプワイヤー屈曲） 有：反転授業・実習</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 ウ 技工操作 e フレームワークの製作</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ④可撤性義歯の要素構成と支持、把持、維持の機構を説明できる。 ⑤可撤性義歯の設計原則を説明できる。</p> | 河相 安彦 飯島 守雄 木本 統康 伊藤 誠 大久保 昌和 中田 浩史 石井 智浩 矢崎 貴啓 井上 正安 小出 恭代 北村 彩 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 中島 義雄 小川 晃奈 石渡 幸志 木村 純 宮内 良樹 齋藤 佳奈美 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|----------------------------------|--|--|
| 2018/06/29 (金) 1時限 09:00～10:30 | 【PD実-9】 クラスプのワックスアップ・ワイヤークラスプの屈曲 | <p>【授業の一般目標】 適合の良い局部床義歯製作のために必要なクラスプのワックスアップの手順とワイヤークラスプの屈曲法を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. クラスプパターンの採得ができる。 2. リンガルバーのパターン採得ができる。 3. クラスプワイヤーの屈曲ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 クラスプ、リンガルバー、ワイヤークラスプ</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実習書第5回パターン採得、Web-classの予習項目 (クラスプパターンの作製、リンガルバーパターンの作製、クラスプワイヤー屈曲) 有：反転授業・実習</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 ウ 技工操作 e フレームワークの製作</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) ④可撤性義歯の要素構成と支持、把持、維持の機構を説明できる。 ⑤可撤性義歯の設計原則を説明できる。</p> | 河相 安彦 小出 恭代 小川 晃奈 渡邊 丈紘 中島 義雄 石渡 幸志 宮内 良樹 |
| 2018/07/03 (火) 2時限 10:40～12:10 | 【PD-6・7・8】の まとめ講義 | <p>【授業の一般目標】 適切な部分床義歯の制作を行うために部分床義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法と製作過程に関する知識と技能を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 部分床義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。□ 2. 部分床義歯の製作過程を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 PD-6・7・8の復習 1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 あり：スマホによる双方向型授業</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 ア 義歯の設計 b 義歯の構成要素</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 ウ 技工操作 e フレームワークの製作</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) ④可撤性義歯の要素構成と支持、把持、維持の機構を説明できる。 ⑤可撤性義歯の設計原則を説明できる。 ⑩可撤性義歯の咬合様式とその意義を説明できる。 ⑪可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。</p> | 飯島 守雄 |
| 2018/07/03 (火) 3時限 13:10～14:40 | 【実技試験①有床 】サバイイング 解説 | <p>【授業の一般目標】 適切な局部床義歯製作に必要な模型上の検査方法を理解する</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 模型の設置が出来る 2. 適切な検査ツールを選択できる 3. サバイイングツールを使用することができる 4. 検査後に適切な設計線を記載することができる</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 バーシャルデンチャーテクニックp13～</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし</p> | 河相 安彦 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 中田 浩史 石井 智浩 矢崎 貴啓 井上 正安 小出 恭代 北村 彩 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 中島 義雄 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|-------------------------------------|--|--|
| 2018/07/03 (火) 3時限 13:10～14:40 | 【実技試験①有床】 サベイング 解説 | 【学修方略 (L S)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 3 0 1 教室、第 5 実習室 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) ④可撤性義歯の要素構成と支持、把持、維持の機構を説明できる。 ⑤可撤性義歯の設計原則を説明できる。 | 小川 晃奈 石渡 幸志 木村 純 宮内 良樹 佐藤 佳奈美 齋藤 由貴 |
| 2018/07/03 (火) 4時限 14:50～16:20 | 【実技試験②有床】 マウスプレパレーション 解説 | 【授業の一般目標】 歯列の部分欠損に対する口腔内前処置に関する知識、技能および態度を修得する。 【行動目標 (S B O s)】 1. 支台歯に対する前処置ができる。 2. 適切な器具の取り扱いができる 3. 患者に配慮が出来る 【準備学修項目と準備学修時間】 教科書および実習の復習 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 【学修方略 (L S)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 3 0 1 教室、第 5 実習室 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) ④可撤性義歯の要素構成と支持、把持、維持の機構を説明できる。 ⑤可撤性義歯の設計原則を説明できる。 | 河相 安彦 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 中田 浩史 石井 智浩 矢崎 貴啓 井上 正安 小出 恭代 北村 彩 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 中島 義雄 小川 晃奈 石渡 幸志 木村 純 宮内 良樹 佐藤 佳奈美 齋藤 由貴 |
| 2018/07/06 (金) 1時限 09:00～10:30 | 【CD-1】総義歯の 目的と意義、適応 症・種類と前処置 | 【授業の一般目標】 無歯顎者に適切な補綴装置を用いた治療を行うために必要な知識、技能泳い態度を修得する。 【行動目標 (S B O s)】 1. 全部床義歯の構成要素を列挙できる。 2. 全部床義歯の維持・支持・安定に関わる構成要素を説明できる。 3. 全部床義歯の維持の発現機構を説明できる。 4. 全部床義歯の支持の発現機構を説明できる。 5. 全部床義歯の安定の発現機構を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 無歯顎補綴治療学 (第 3 版) p47～56 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 あり：コンセプトテスト 【学修方略 (L S)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 3 0 1 教室、第 5 実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 2 診察、検査、診断 イ 検査と評価 f 補綴装置の評価 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) ①歯の欠損、顎骨・顔面の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。 ②可撤性義歯の種類、目的及び意義を説明できる。 ③可撤性義歯の特徴と適応症を説明できる。 ④可撤性義歯の要素構成と支持、把持、維持の機構を説明できる。 ⑤可撤性義歯の設計原則を説明できる。 | 河相 安彦 |
| 2018/07/10 (火) 2時限 10:40～12:10 | 【CD-2】無歯顎の 概形印象採得・研 究模型・個人トレー | 【授業の一般目標】 無歯顎患者の印象採得を円滑に行うために必要な口腔周囲の解剖学、印象材、印象方法および模型の製作方法に関する知識および技能を修得する。 【行動目標 (S B O s)】 1. 概形印象採得の種類と方法を説明できる。 2. 研究模型の意義を説明できる。 3. 個人トレーの要件を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 | 河相 安彦 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|-----------------------------|--|--|
| 2018/07/10 (火) 2時限 10:40～12:10 | 【CD-2】無歯顎の概形印象採得・研究模型・個人トレー | 無歯顎補綴治療学(第3版) 102～112、113～115 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有:ピアインストラクション 【学修方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 301教室、第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 イ 臨床操作 b 印象採得 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 ウ 技工操作 a 個人トレーの製作 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) ⑥可撤性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。 | 河相 安彦 |
| 2018/07/10 (火) 3時限 13:10～14:40 | 【CD実-1】無歯顎の概形印象採得・研究模型 | 【授業の一般目標】 無歯顎患者の印象採得を円滑に行うために必要な口腔周囲の解剖学、印象材、印象方法および研究模型の製作方法に関する知識および技能を修得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 無歯顎者に対する治療法を説明できる。 2. 印象採得の種類と方法を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 無歯顎補綴治療学P91～104 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有:反転授業・実習 【学修方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 301教室、第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 イ 臨床操作 b 印象採得 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) ⑥可撤性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。 | 河相 安彦 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 中田 浩史 石井 智浩 矢崎 貴啓 井上 正安 小出 恭代 北村 彩 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 中島 義雄 小川 晃奈 石渡 幸志 木村 純 宮内 良樹 佐藤 佳奈美 齋藤 由貴 |
| 2018/07/10 (火) 4時限 14:50～16:20 | 【CD実-1】無歯顎の概形印象採得・研究模型 | 【授業の一般目標】 無歯顎患者の印象採得を円滑に行うために必要な口腔周囲の解剖学、印象材、印象方法および研究模型の製作方法に関する知識および技能を修得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 無歯顎者に対する治療法を説明できる。 2. 印象採得の種類と方法を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 無歯顎補綴治療学P91～104 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有:反転授業・実習 【学修方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 301教室、第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 イ 臨床操作 | 河相 安彦 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 中田 浩史 石井 智浩 矢崎 貴啓 井上 正安 小出 恭代 北村 彩 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 中島 義雄 小川 晃奈 石渡 幸志 木村 純 宮内 良樹 佐藤 佳奈美 齋藤 由貴 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|------------------------|---|--|
| 2018/07/10 (火) 4時限 14:50～16:20 | 【CD実-1】無歯顎の概形印象採得・研究模型 | b 印象採得 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) ⑥可撤性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。 | 河相 安彦 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 中田 浩史 石井 智浩 矢崎 貴啓 井上 正安 小出 恭代 北村 彩 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 中島 義雄 小川 晃奈 石渡 幸志 木村 純 宮内 良樹 佐藤 佳奈美 齋藤 由貴 |
| 2018/07/13 (金) 1時限 09:00～10:30 | 【CD実-1】無歯顎の概形印象採得・研究模型 | 【授業の一般目標】 無歯顎患者の印象採得を円滑に行うために必要な口腔周囲の解剖学、印象材、印象方法および研究模型の製作方法に関する知識および技能を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 無歯顎者に対する治療法を説明できる。 2. 印象採得の種類と方法を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 無歯顎補綴治療学P91～104 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：反転授業・実習 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 301教室、第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 イ 臨床操作 b 印象採得 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) ⑥可撤性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。 | 河相 安彦 小出 恭代 小川 晃奈 渡邊 丈紘 中島 義雄 石渡 幸志 宮内 良樹 |
| 2018/07/17 (火) 2時限 10:40～12:10 | 【CD-3】無歯顎の精密印象と作業模型 | 【授業の一般目標】 無歯顎患者の印象採得を円滑に行うために必要な口腔周囲の解剖学、印象材、印象方法および作業模型の製作方法に関する知識および技能を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 無歯顎者に対する治療法を説明できる。 2. 総義歯の支持機構および維持機構を説明できる。 3. 印象採得の種類と方法を説明できる。 4. 作業模型の製作法を説明できる 【準備学修項目と準備学修時間】 無歯顎補綴治療学 (第3版) 115～122, 122～125: 1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：ピアインストラクション 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 301教室、第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 イ 臨床操作 b 印象採得 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 ウ 技工操作 b 作業用模型の製作 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 | 河相 安彦 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|---------------------|--|--|
| 2018/07/17 (火) 2時限 10:40～12:10 | 【CD-3】無歯顎の精密印象と作業模型 | E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) ⑥可撤性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。 | 河相 安彦 |
| 2018/07/17 (火) 3時限 13:10～14:40 | 【CD実-2】個人トレーの製作 | <p>【授業の一般目標】 無歯顎患者の精密印象採得を円滑に行うために必要な個人トレーの要件と製作方法を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 無歯顎の個人トレーの目的を説明できる 2. 無歯顎の個人トレーの設計の要件を説明できる 3. 無歯顎の個人トレーを製作できる</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 無歯顎補綴治療学P91～104</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：反転授業・実習</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 ウ 技工操作 a 個人トレーの製作</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) ⑥可撤性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。</p> | 河相 安彦 飯島 守雄 木本 統康 伊藤 誠 大久保 昌和 中田 浩史 石井 智浩 矢崎 貴啓 井上 正安 小出 恭代 北村 彩 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 中島 義雄 小川 晃奈志 石渡 幸志 木村 純 宮内 良樹 齋藤 佳奈美 藤 由貴 |
| 2018/07/17 (火) 4時限 14:50～16:20 | 【CD実-2】個人トレーの製作 | <p>【授業の一般目標】 無歯顎患者の精密印象採得を円滑に行うために必要な個人トレーの要件と製作方法を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 無歯顎の個人トレーの目的を説明できる 2. 無歯顎の個人トレーの設計の要件を説明できる 3. 無歯顎の個人トレーを製作できる</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 無歯顎補綴治療学P91～104</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：反転授業・実習</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 ウ 技工操作 a 個人トレーの製作</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) ⑥可撤性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。</p> | 河相 安彦 飯島 守雄 木本 統康 伊藤 誠 大久保 昌和 中田 浩史 石井 智浩 矢崎 貴啓 井上 正安 小出 恭代 北村 彩 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 中島 義雄 小川 晃奈志 石渡 幸志 木村 純 宮内 良樹 齋藤 佳奈美 藤 由貴 |
| 2018/07/20 (金) 1時限 09:00～10:30 | 【CD実-2】個人トレーの製作 | <p>【授業の一般目標】 無歯顎患者の精密印象採得を円滑に行うために必要な個人トレーの要件と製作方法を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 無歯顎の個人トレーの目的を説明できる 2. 無歯顎の個人トレーの設計の要件を説明できる 3. 無歯顎の個人トレーを製作できる</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 無歯顎補綴治療学P91～104</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：反転授業・実習</p> | 河相 安彦 小出 恭代 小川 晃奈志 渡邊 丈紘 中島 義雄 石渡 幸志 宮内 良樹 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|-------------------------|--|---|
| 2018/07/20 (金) 1時限 09:00～10:30 | 【CD実-2】個人トレーの製作 | <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 ウ 技工操作 a 個人トレーの製作</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) ⑥可撤性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。</p> | 河相 安彦 小出 恭 小川 晃 渡邊 丈紘 中島 義雄 石渡 幸志 宮内 良樹 |
| 2018/08/28 (火) 2時限 10:40～12:10 | 【CD-1・2・3】のまとめ講義 | <p>【授業の一般目標】 適切な総義歯を製作せしめるために必要な前処と精密印象に関する知識、技能を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 全部床義歯の構成要素を列挙できる。 2. 全部床義歯の維持・支持・安定に関わる構成要素を説明できる。 3. 全部床義歯の維持の発現機構を説明できる。 4. 全部床義歯の支持の発現機構を説明できる。 5. 全部床義歯の安定の発現機構を説明できる。 6. 概形印象採得の種類と方法を説明できる。 7. 研究模型の意義を説明できる。 8. 個人トレーの要件を説明できる。 9. 印象採得の種類と方法を説明できる。 10. 作業模型の製作法を説明できる</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 無歯顎補綴治療学 (第3版) 47～56, 102～125 1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 あり：スマホによる双方向型事業</p> <p>【学修方略 (LS)】 演習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 2 診察、検査、診断 イ 検査と評価 f 補綴装置の評価</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 イ 臨床操作 b 印象採得</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) ①歯の欠損、顎骨・顔面の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。 ②可撤性義歯の種類、目的及び意義を説明できる。 ③可撤性義歯の特徴と適応症を説明できる。 ④可撤性義歯の要素構成と支持、把持、維持の機構を説明できる。 ⑤可撤性義歯の設計原則を説明できる。 ⑥可撤性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。</p> | 河相 安彦 |
| 2018/08/28 (火) 3時限 13:10～14:40 | 【CD実-3】精密印象の採得と作業用模型の製作 | <p>【授業の一般目標】 上下顎無歯顎者に対する総義歯製作の過程を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 無歯顎の筋圧形成を行うことができる</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 総義歯補綴学実習便覧 [2] 印象調製 (4) 筋形成～ [3] 作業模型 WebClass 補綴学1 総義歯実習デモ動画 第15章～27章</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：反転授業・実習</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第5実習室</p> | 河相 安彦 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 中田 浩史 石井 智浩 矢崎 貴啓 井上 正安 小出 恭代 北村 彩 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 中島 義雄 小川 晃 石渡 幸志 木村 純 宮内 良樹 佐藤 佳奈美 齋藤 由貴 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|--|---|--|
| 2018/08/28 (火) 3時限 13:10～14:40 | 【CD実-3】精密印象の採得と作業用模型の製作 | <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 イ 臨床操作 b 印象採得</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 ウ 技工操作 b 作業用模型の製作</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ⑥可撤性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。</p> | 河相 安彦 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 中田 浩史 石井 智浩 矢崎 貴啓 井上 正安 小出 恭代 北村 彩 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 中島 義雄 小川 晃奈 石渡 幸志 木村 純 宮内 良樹 佐藤 佳奈美 齋藤 由貴 |
| 2018/08/28 (火) 4時限 14:50～16:20 | 【CD実-3】精密印象の採得と作業用模型の製作 | <p>【授業の一般目標】 上下顎無歯顎者に対する総義歯製作の過程を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 無歯顎の筋圧形成を行うことができる</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 総義歯補綴学実習便覧 [2] 印象調製 (4) 筋形成～ [3] 作業模型 WebClass 補綴学1 総義歯実習デモ動画 第15章～27章</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：反転授業・実習</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 イ 臨床操作 b 印象採得</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 ウ 技工操作 b 作業用模型の製作</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ⑥可撤性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。</p> | 河相 安彦 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 中田 浩史 石井 智浩 矢崎 貴啓 井上 正安 小出 恭代 北村 彩 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 中島 義雄 小川 晃奈 石渡 幸志 木村 純 宮内 良樹 佐藤 佳奈美 齋藤 由貴 |
| 2018/08/31 (金) 1時限 09:00～10:30 | 【平常試験③】 (9:00～10:00) 1 0:00～試験解説 | <p>【準備学修項目と準備学修時間】 範囲： PD1～PD8, CD1～3, MCQ 55問</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ①歯の欠損、顎骨・顔面の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。 ②可撤性義歯の種類、目的及び意義を説明できる。 ③可撤性義歯の特徴と適応症を説明できる。 ④可撤性義歯の要素構成と支持、把持、維持の機構を説明できる。 ⑤可撤性義歯の設計原則を説明できる。 ⑥可撤性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。 ⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。 ⑫可撤性義歯の製作過程を説明できる。</p> | 河相 安彦 飯島 守雄 木本 統 |
| 2018/09/18 (火) 2時限 10:40～12:10 | 【CD-4】無歯顎の顎間関係の記録 | <p>【授業の一般目標】 無歯顎患者の顎間関係記録の理論的背景を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 無歯顎の咬合採得する下顎位と咬合採得法を説明できる。 2. 無歯顎の下顎運動の記録法と咬合器の調節を説明できる。</p> | 木本 統 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|--------------------|---|---|
| 2018/09/18 (火) 2時限 10:40~12:10 | 【CD-4】 無歯顎の顎間関係の記録 | <p>【準備学修項目と準備学修時間】 無歯顎補綴治療学：5章および6章</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：なし 学習媒体：授業プリント、PCでの解説</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 イ 臨床操作 c 顎間関係の記録</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 ウ 技工操作 c 咬合器装着・調節</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ⑥可撤性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。 ⑦歯の欠損した歯列での下顎位・下顎運動の記録法を説明できる。 ⑧調節性咬合器の基本的操作方法、フェイスボウトランスファー、チェックバイト法を説明できる。</p> | 木本 統 |
| 2018/09/18 (火) 3時限 13:10~14:40 | 【CD実-4】 咬合床の製作 | <p>【授業の一般目標】 リリースの目的に基づき、適切な緩衝域の設置と咬合床の製作方法を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 無歯顎の作業用模型の診査とリリースができる。 2. 無歯顎の咬合床を調製ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 総義歯補綴学実習便覧 [3] 作業模型 (2) ~ [4] 咬合床 WebClass 補綴学1 総義歯実習デモ動画 第28章~45章</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：反転授業・実習</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 イ 臨床操作 c 顎間関係の記録</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ⑥可撤性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。 ⑦歯の欠損した歯列での下顎位・下顎運動の記録法を説明できる。</p> | 河相 安彦 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 中田 浩史 石井 智浩 矢崎 貴啓 井上 正安 小出 恭代 北村 彩 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 中島 義雄 小川 晃奈志 石渡 幸志 木村 純 宮内 良樹 藤 佐藤 齋 佳奈美 藤 由貴 |
| 2018/09/18 (火) 4時限 14:50~16:20 | 【CD実-4】 咬合床の製作 | <p>【授業の一般目標】 リリースの目的に基づき、適切な緩衝域の設置と咬合床の製作方法を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 無歯顎の作業用模型の診査とリリースができる。 2. 無歯顎の咬合床を調製ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 総義歯補綴学実習便覧 [3] 作業模型 (2) ~ [4] 咬合床 WebClass 補綴学1 総義歯実習デモ動画 第28章~45章</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：反転授業・実習</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第5実習室</p> | 河相 安彦 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 中田 浩史 石井 智浩 矢崎 貴啓 井上 正安 小出 恭代 北村 彩 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 中島 義雄 小川 晃奈志 石渡 幸志 木村 純 宮内 良樹 藤 佐藤 齋 佳奈美 藤 由貴 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|-------------------|---|---|
| 2018/09/18 (火) 4時限 14:50～16:20 | 【CD実-4】咬合床の製作 | <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 イ 臨床操作 c 顎間関係の記録</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ⑥可撤性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。 ⑦歯の欠損した歯列での下顎位・下顎運動の記録法を説明できる。</p> | 河相 安彦 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 中田 浩史 石井 智浩 矢崎 貴啓 井上 正安 小出 恭代 北村 恭彩 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 中島 義雄 小川 晃奈 石渡 幸志 木村 純 宮内 良樹 佐藤 佳奈美 齋藤 由貴 |
| 2018/10/02 (火) 2時限 10:40～12:10 | 【CD-5】無歯顎の下顎運動の記録 | <p>【授業の一般目標】 無歯顎患者の顎間関係記録の理論的背景を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 無歯顎者に対する治療法を説明できる。 2. 無歯顎の咬合採得する下顎位と咬合採得法を説明できる。 3. 無歯顎の下顎運動の記録法と咬合器の調節を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 無歯顎補綴治療学：5章および6章</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：なし 学習媒体：授業プリント、PCでの解説</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 イ 臨床操作 c 顎間関係の記録</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 ウ 技工操作 c 咬合器装着・調節</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ⑦歯の欠損した歯列での下顎位・下顎運動の記録法を説明できる。 ⑧調節性咬合器の基本的操作方法、フェイスボウトランスファー、チェックバイト法を説明できる。</p> | 木本 統 |
| 2018/10/02 (火) 3時限 13:10～14:40 | 【CD実-5】仮想咬合平面の設定 | <p>【授業の一般目標】 歯を喪失した無歯顎者の咬合平面を設定するために必要な知識と適切な手順を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 咬合症の試適を行うことができる。 2. 前歯部ろう堤の修正ができる。 3. カンベル平面を明示することができる。 4. ろう堤を修正し仮想咬合平面を設定できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 webclass ビデオ コンプリートデンチャーテクニク（第6版）p56～59</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 あり：実習</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 イ 臨床操作 c 顎間関係の記録</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学</p> | 河相 安彦 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 中田 浩史 石井 智浩 矢崎 貴啓 井上 正安 小出 恭代 北村 恭彩 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 中島 義雄 小川 晃奈 石渡 幸志 木村 純 宮内 良樹 佐藤 佳奈美 齋藤 由貴 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|------------------|---|---|
| 2018/10/02 (火) 3時限 13:10～14:40 | 【CD実-5】仮想咬合平面の設定 | E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) ⑦歯の欠損した歯列での下顎位・下顎運動の記録法を説明できる。 | 河相 安彦 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 中田 浩史 石井 智浩 矢崎 貴啓 井上 正安 小出 恭代 北村 彩 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 中島 義雄 小川 晃奈 石渡 幸志 木村 純 宮内 良樹 佐藤 佳奈 齋藤 美由 |
| 2018/10/02 (火) 4時限 14:50～16:20 | 【CD実-5】仮想咬合平面の設定 | 【授業の一般目標】 歯を喪失した無歯顎者の咬合平面を設定するために必要な知識と適切な手順を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 咬合症の試適を行うことができる。 2. 前歯部ろう堦の修正ができる。 3. カンベル平面を明示することができる。 4. ろう堦を修正し仮想咬合平面を設定できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 webclass ビデオ コンプリートデンチャーテクニク (第6版) p56～59 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 あり：実習 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 301教室、第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 イ 臨床操作 c 顎間関係の記録 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) ⑦歯の欠損した歯列での下顎位・下顎運動の記録法を説明できる。 | 河相 安彦 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 中田 浩史 石井 智浩 矢崎 貴啓 井上 正安 小出 恭代 北村 彩 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 中島 義雄 小川 晃奈 石渡 幸志 木村 純 宮内 良樹 佐藤 佳奈 齋藤 美由 |
| 2018/10/09 (火) 2時限 10:40～12:10 | 【CD-4・5】のまとめ講義 | 【授業の一般目標】 上下顎無歯顎者に対する総義歯製作の咬合採得に用いる材料と方法を理解し適切な下顎位・下顎運動の記録法と咬合器の基本的操作方法、フェイスボウトランスファー、チェックバイトを行うのに必要な知識と技能を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 総義歯製作の印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。 2. 適切な下顎位・下顎運動の記録法と咬合器の基本的操作方法を説明できる。 3. フェイスボウトランスファーとチェックバイトの目的を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 総義歯補綴学実習便覧 [2] 印象調製 (4) 筋形成～ [3] 作業模型 WebClass 補綴学1 総義歯実習デモ動画 第15章～27章 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：反転授業・実習 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 イ 臨床操作 c 顎間関係の記録 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 ウ 技工操作 c 咬合器装着・調節 【コアカリキュラム】 | 木本 統 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|-------------------------|--|---|
| 2018/10/09 (火) 2時限 10:40～12:10 | 【CD-4・5】のまとめ講義 | E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) ⑥可撤性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。 ⑦歯の欠損した歯列での下顎位・下顎運動の記録法を説明できる。 ⑧調節性咬合器の基本的操作方法、フェイスボウトランスファー、チェックバイト法を説明できる。 | 木本 統 |
| 2018/10/09 (火) 3時限 13:10～14:40 | 【CD実-6】垂直的顎間関係の記録と咬合器付着 | <p>【授業の一般目標】 歯を喪失した無歯顎者の垂直的な顎間関係を設定するために必要な知識と適切な手順を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 下顎安静位の定義を説明できる。 2. 安静空隙量を述べることができる。 3. 下顎安静位の誘導法を述べることができる。 4. 下顎安静位から咬合高径を設定する手順を述べることができる。 5. 下顎咬合床の高さを調整できる。 6. 適切な咬合高径を設定できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 コンプリートデンチャーテクニク (第6版) 60～72</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 あり：実習</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 イ 臨床操作 c 顎間関係の記録</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 ウ 技工操作 c 咬合器装着・調節</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) ⑦歯の欠損した歯列での下顎位・下顎運動の記録法を説明できる。</p> | 河相 安彦 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 中田 浩史 石井 智浩 矢崎 貴啓 井上 正安 小出 恭代 北村 彩 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 中島 義雄 小川 晃奈 石渡 幸志 木村 純 宮内 良樹 佐藤 佳奈 齋藤 由貴 |
| 2018/10/09 (火) 4時限 14:50～16:20 | 【CD実-6】垂直的顎間関係の記録と咬合器付着 | <p>【授業の一般目標】 歯を喪失した無歯顎者の垂直的な顎間関係を設定するために必要な知識と適切な手順を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 下顎安静位の定義を説明できる。 2. 安静空隙量を述べることができる。 3. 下顎安静位の誘導法を述べることができる。 4. 下顎安静位から咬合高径を設定する手順を述べることができる。 5. 下顎咬合床の高さを調整できる。 6. 適切な咬合高径を設定できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 コンプリートデンチャーテクニク (第6版) 60～72</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 あり：実習</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 イ 臨床操作 c 顎間関係の記録</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 ウ 技工操作 c 咬合器装着・調節</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患</p> | 河相 安彦 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 中田 浩史 石井 智浩 矢崎 貴啓 井上 正安 小出 恭代 北村 彩 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 中島 義雄 小川 晃奈 石渡 幸志 木村 純 宮内 良樹 佐藤 佳奈 齋藤 由貴 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|--|--|--|
| 2018/10/09 (火) 4時限 14:50~16:20 | 【CD実-6】垂直的顎間関係の記録と咬合器付着 | E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) ⑦歯の欠損した歯列での下顎位・下顎運動の記録法を説明できる。 | 河相 安彦 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 中田 浩史 石井 智浩 矢崎 貴啓 井上 正安 小出 恭代 北村 彩 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 中島 義雄 小川 晃奈 石渡 幸志 木村 純 宮内 良樹 佐藤 佳奈美 齋藤 由貴 |
| 2018/10/16 (火) 2時限 10:40~12:10 | 【PD-9】局部床義歯のクラスプ・フレームワークの試適、オルタードキャスト印象法 | 【授業の一般目標】 局部床義歯のフレームワークの試適とオルタードキャスト印象法と改造印象法に関する知識および技能を修得する 【行動目標 (SBOs)】 1. 歯列部分欠損に対する治療法を説明できる。 2. 局部床義歯のフレームワークの試適方法について説明できる。 3. 局部床義歯のフレームワークの試適に必要な器材を列挙できる。 4. オルタードキャスト印象法と改造印象法について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 歯学生のパーシャルデンチャー：15章 (P110~120)，20章 (165~168)，22章 (187~192) 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：ピアインストラクション 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 301教室、第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 イ 臨床操作 d フレームワークの試適 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 イ 臨床操作 b 印象採得 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) ⑥可撤性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。 ⑫可撤性義歯の製作過程を説明できる。 | 石井 智浩 |
| 2018/10/16 (火) 3時限 13:10~14:40 | 【実技試験③有床】概形印象採得と解説 | 【授業の一般目標】 無歯顎患者および部分欠損歯列の概形印象採得を円滑に行うために必要な知識、技能および態度を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 概形印象採得に使うトレーを選択できる 2. トレーの試適を行う事ができる 3. 印象材の練和を適切にできる 4. 患者への配慮ができる 【準備学修項目と準備学修時間】 講義および実習の復習 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 301教室、第5実習室 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) ⑥可撤性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。 | 河相 安彦 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 中田 浩史 石井 智浩 矢崎 貴啓 井上 正安 小出 恭代 北村 彩 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 中島 義雄 小川 晃奈 石渡 幸志 木村 純 宮内 良樹 佐藤 佳奈美 齋藤 由貴 |
| 2018/10/16 (火) | 【実技試験④有床】 | 【授業の一般目標】 | 河相 安彦 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|--------------------------------|--|---|
| 4時限 14:50～16:20 | 】咬合採得と解説 | <p>無歯顎患者の咬合採得を円滑に行うために必要な知識、技能および態度を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 仮想咬合平面の設定法を説明できる 2. 仮想咬合平面の設定法を実施できる 3. 下顎安静位を設定できる 4. 患者への配慮ができる <p>【準備学修項目と準備学修時間】 講義および実習の復習</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第5実習室</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ⑥可撤性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。 ⑦歯の欠損した歯列での下顎位・下顎運動の記録法を説明できる。</p> | 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 中田 浩史 石井 智浩 矢崎 貴啓 井上 正安 小出 恭代 北村 彩 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 中島 義雄 小川 晃奈 石渡 幸志 木村 純 宮内 良樹 佐藤 佳奈美 齋藤 由貴 |
| 2018/10/23 (火) 2時限 10:40～12:10 | 【PD-10】局部床義歯の咬合床の要件と製作・顎間関係の記録 | <p>【授業の一般目標】 局部床義歯の咬合床・下顎位・咬合採得を行うのに必要な補綴学の知識を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 歯列部分欠損に対する治療法を説明できる。 2. 局部床義歯の咬合床について説明できる。 3. 部分欠損の咬合採得する下顎位と咬合採得法を説明できる。 4. 部分欠損の下顎運動の記録法と咬合器の調節を説明できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯学生のパーソナルデンチャー：25章（213-217），4章（P27-34），5章（42-44），7章（54-69） 準備学修時間 30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：ピアインストラクション</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 イ 臨床操作 c 顎間関係の記録</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 ウ 技工操作 c 咬合器装着・調節</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ⑥可撤性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。 ⑦歯の欠損した歯列での下顎位・下顎運動の記録法を説明できる。 ⑧調節性咬合器の基本的操作方法、フェイスボウトランスファー、チェックバイト法を説明できる。</p> | 伊藤 誠康 |
| 2018/10/23 (火) 3時限 13:10～14:40 | 【PD実-10】局部床義歯のクラスプ試適・咬合床の調製 | <p>【授業の一般目標】 鑄造されたクラスプの試適事項の確認と、適切な咬合採得を円滑に行うのに必要な咬合床の製作方法を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. クラスプの試適ができる。 2. 局部床義歯の咬合床を調製ができる。 3. 評価表6・7回咬合床の作製にチェックを受ける。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】 クラスプ、フレームワーク試適、咬合床</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実習書第7・8回、鑄造、試適、研磨、咬合床、Web-classの予習項目（咬合床作製） 有：反転授業・実習</p> | 河相 安彦 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 中田 浩史 石井 智浩 矢崎 貴啓 井上 正安 小出 恭代 北村 彩 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 中島 義雄 小川 晃奈 石渡 幸志 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|---------------------------------------|--|--|
| 2018/10/23 (火) 3時限 13:10～14:40 | 【PD実-10】局部床義歯のクラスプ試適・咬合床の調製 | <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 イ 臨床操作 d フレームワークの試適</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) ⑥可撤性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。 ⑫可撤性義歯の製作過程を説明できる。</p> | 木村 純 宮内 良樹 佐藤 佳奈美 齋藤 由貴 |
| 2018/10/23 (火) 4時限 14:50～16:20 | 【PD実-10】局部床義歯のクラスプ試適・咬合床の調製 | <p>【授業の一般目標】 鑄造されたクラスプの試適事項の確認と、適切な咬合採得を円滑に行うのに必要な咬合床の製作方法を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. クラスプの試適ができる。 2. 局部床義歯の咬合床を調製ができる。 3. 評価表6・7回咬合床の作製にチェックを受ける。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 クラスプ、フレームワーク試適、咬合床</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実習書第7・8回、鑄造、試適、研磨、咬合床、Web-classの予習項目 (咬合床作製) 有：反転授業・実習</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 イ 臨床操作 d フレームワークの試適</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) ⑥可撤性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。 ⑫可撤性義歯の製作過程を説明できる。</p> | 河相 安彦 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 中田 浩史 石井 智浩 矢崎 貴啓 井上 正安 小出 恭代 北村 彩 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 中島 義雄 小川 晃奈 石渡 幸志 木村 純 宮内 良樹 佐藤 佳奈美 齋藤 由貴 |
| 2018/10/30 (火) 2時限 10:40～12:10 | 【PD実-11】フェイスボウトランスファー・咬合採得・作業模型の咬合器付着 | <p>【授業の一般目標】 局部床義歯の適切な上下顎間関係の記録を行うために必要な咬合採得法とフェイスボウトランスファーと顎間関係記録に基づく正確な咬合器付着を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. クラスプの試適ができる。 2. 局部床義歯の咬合床を調製ができる。 3. 評価表6・7回咬合床の作製にチェックを受ける。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 フェイスボウトランスファー・咬合採得・作業模型の咬合器付着</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実習書第9回咬合採得、Web-classの予習項目 (フェイスボウトランスファー、咬合採得、模型付着) 有：反転授業・実習</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 イ 臨床操作 c 顎間関係の記録</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】</p> | 河相 安彦 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 中田 浩史 石井 智浩 矢崎 貴啓 井上 正安 小出 恭代 北村 彩 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 中島 義雄 小川 晃奈 石渡 幸志 木村 純 宮内 良樹 佐藤 佳奈美 齋藤 由貴 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|---------------------------------------|--|---|
| 2018/10/30 (火) 2時限 10:40～12:10 | 【PD実-11】フェイスボウトランスファー・咬合採得・作業模型の咬合器付着 | <p>歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 ウ 技工操作 c 咬合器装着・調節</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) ⑥可撤性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。 ⑦歯の欠損した歯列での下顎位・下顎運動の記録法を説明できる。 ⑧調節性咬合器の基本的操作方法、フェイスボウトランスファー、チェックバイト法を説明できる。</p> | 河相 安彦 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠 大久保 康 中田 昌和 石井 浩史 石井 智浩 矢崎 貴啓 井上 正安 小出 恭代 北村 彩 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 中島 義雄 小川 晃奈 石渡 幸志 木村 純 宮内 良樹 佐藤 佳奈美 齋藤 由貴 |
| 2018/10/30 (火) 3時限 13:10～14:40 | 【PD実-11】フェイスボウトランスファー・咬合採得・作業模型の咬合器付着 | <p>【授業の一般目標】 局部床義歯の適切な上下顎間関係の記録を行うために必要な咬合採得法とフェイスボウトランスファーと顎間関係記録に基づく正確な咬合器付着を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. クラスプの試適ができる。 2. 局部床義歯の咬合床を調製ができる。 3. 評価表6・7回咬合床の作製にチェックを受ける。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 フェイスボウトランスファー・咬合採得・作業模型の咬合器付着</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実習書第9回咬合採得、Web-classの予習項目(フェイスボウトランスファー、咬合採得、模型付着) 有: 反転授業・実習</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 イ 臨床操作 c 顎間関係の記録</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 ウ 技工操作 c 咬合器装着・調節</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) ⑥可撤性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。 ⑦歯の欠損した歯列での下顎位・下顎運動の記録法を説明できる。 ⑧調節性咬合器の基本的操作方法、フェイスボウトランスファー、チェックバイト法を説明できる。</p> | 河相 安彦 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠 大久保 康 中田 昌和 石井 浩史 石井 智浩 矢崎 貴啓 井上 正安 小出 恭代 北村 彩 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 中島 義雄 小川 晃奈 石渡 幸志 木村 純 宮内 良樹 佐藤 佳奈美 齋藤 由貴 |
| 2018/10/30 (火) 4時限 14:50～16:20 | 【PD実-11】フェイスボウトランスファー・咬合採得・作業模型の咬合器付着 | <p>【授業の一般目標】 局部床義歯の適切な上下顎間関係の記録を行うために必要な咬合採得法とフェイスボウトランスファーと顎間関係記録に基づく正確な咬合器付着を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. クラスプの試適ができる。 2. 局部床義歯の咬合床を調製ができる。 3. 評価表6・7回咬合床の作製にチェックを受ける。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 フェイスボウトランスファー・咬合採得・作業模型の咬合器付着</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実習書第9回咬合採得、Web-classの予習項目(フェイスボウトランスファー、咬合採得、模型付着) 有: 反転授業・実習</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害</p> | 河相 安彦 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠 大久保 康 中田 昌和 石井 浩史 石井 智浩 矢崎 貴啓 井上 正安 小出 恭代 北村 彩 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 中島 義雄 小川 晃奈 石渡 幸志 木村 純 宮内 良樹 佐藤 佳奈美 齋藤 由貴 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|---------------------------------------|--|--|
| 2018/10/30 (火) 4時限 14:50～16:20 | 【PD実-11】フェイスボウトランスファー・咬合採得・作業模型の咬合器付着 | 4 部分床義歯による治療 イ 臨床操作 c 顎間関係の記録 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 ウ 技工操作 c 咬合器装着・調節 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ⑥可撤性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。 ⑦歯の欠損した歯列での下顎位・下顎運動の記録法を説明できる。 ⑧調節性咬合器の基本的操作方法、フェイスボウトランスファー、チェックバイト法を説明できる。 | 河相 安彦 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 中田 浩史 石井 智浩 矢崎 貴啓 井上 正安 小出 恭代 北村 彩 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 中島 義雄 小川 晃奈 石渡 幸志 木村 純 宮内 良樹 佐藤 佳奈美 齋藤 由貴 |
| 2018/11/06 (火) 2時限 10:40～12:10 | 【有床6】有床義歯の人工歯と人工歯の選択 | 【授業の一般目標】 有床義歯の人工歯と適切な選択を理解する。 【行動目標（SBOs）】 1.人工歯の選択基準を述べることができる 【準備学修項目と準備学修時間】 無歯顎補綴治療学：7章 歯学生のパーソナルデンチャー：第26章 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無 無歯顎補綴治療学、配布資料 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 301教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 ウ 技工操作 d 人工歯の選択・排列・削合 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 ウ 技工操作 f 人工歯の選択・排列・削合 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ⑨人工歯の選択を説明できる。 ⑩可撤性義歯の咬合様式とその意義を説明できる。 | 木本 統 伊藤 誠康 |
| 2018/11/06 (火) 3時限 13:10～14:40 | 【CD実-7】人工歯排列（前歯人工歯の排列） | 【授業の一般目標】 上下顎無歯顎者に対する総義歯製作の過程を理解する。 【行動目標（SBOs）】 1.総義歯の人工歯排列ができる 【準備学修項目と準備学修時間】 総義歯補綴学実習便覧 [11]人工歯排列 (1)咬合堤の修正～(3)上顎前歯部の排列 WebClass 補綴学1 総義歯実習デモ動画 第60章～63章 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：反転授業・実習 【学修方略（LS）】 実習 【場所（教室/実習室）】 301教室、第5実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 ウ 技工操作 d 人工歯の選択・排列・削合 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 | 河相 安彦 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 中田 浩史 石井 智浩 矢崎 貴啓 井上 正安 小出 恭代 北村 彩 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 中島 義雄 小川 晃奈 石渡 幸志 木村 純 宮内 良樹 佐藤 佳奈美 齋藤 由貴 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|---------------------------------|---|---|
| 2018/11/06 (火) 3時限 13:10～14:40 | 【CD実-7】人工歯 排列 (前歯人工歯 の排列) | E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) ⑨人工歯の選択を説明できる。 ⑩可撤性義歯の咬合様式とその意義を説明できる。 | 河相 安彦 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠 大久保 昌和 中田 浩史 石井 智浩 矢崎 貴啓 井上 正安 小出 恭代 北村 彩 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 中島 義雄 小川 晃奈 石渡 幸志 木村 純 宮内 良樹 佐藤 佳奈美 齋藤 由貴 |
| 2018/11/06 (火) 4時限 14:50～16:20 | 【CD実-7】人工歯 排列 (前歯人工歯 の排列) | 【授業の一般目標】 上下顎無歯顎者に対する総義歯製作の過程を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 総義歯の人工歯排列ができる 【準備学修項目と準備学修時間】 総義歯補綴学実習便覧 [11] 人工歯排列 (1) 咬合堤の修正～(3) 上 顎前歯部の排列 WebClass 補綴学1 総義歯実習デモ動画 第60章～63章 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有: 反転授業・実習 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 301教室、第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 ウ 技工操作 d 人工歯の選択・排列・削合 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) ⑨人工歯の選択を説明できる。 ⑩可撤性義歯の咬合様式とその意義を説明できる。 | 河相 安彦 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠 大久保 昌和 中田 浩史 石井 智浩 矢崎 貴啓 井上 正安 小出 恭代 北村 彩 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 中島 義雄 小川 晃奈 石渡 幸志 木村 純 宮内 良樹 佐藤 佳奈美 齋藤 由貴 |
| 2018/11/13 (火) 2時限 10:40～12:10 | 【CD-6】総義歯の 人工歯排列および 歯肉形成 | 【授業の一般目標】 有床義歯患者の治療を円滑に行うために必要な人工歯排列に関する知識および 技能を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 有床義歯の咬合様式とその意義を説明できる。 2. 有床義歯の人工歯排列方法を列挙できる。 3. 総義歯と局部床義歯の咬合様式の違いを説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 無歯顎補綴治療学 (第3版) 181～216 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有: ビアインストラクション 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 301教室、第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 ウ 技工操作 d 人工歯の選択・排列・削合 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 ウ 技工操作 e 歯肉形成 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 | 河相 安彦 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|----------------------------------|--|---|
| 2018/11/13 (火) 2時限 10:40～12:10 | 【CD-6】総義歯の人工歯排列および歯肉形成 | E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) ⑨人工歯の選択を説明できる。 ⑩可撤性義歯の咬合様式とその意義を説明できる。 | 河相 安彦 |
| 2018/11/13 (火) 3時限 13:10～14:40 | 【CD実-8】人工歯排列 (前歯人工歯の排列・臼歯人工歯の排列) | 【授業の一般目標】 上下顎総義歯のフルバランスドオクルージョンに基づく人工歯排列の実際を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 総義歯の人工歯排列ができる 【準備学修項目と準備学修時間】 総義歯補綴学実習便覧 [11] 人工歯排列 (1) 咬合堤の修正～(3) 上顎前歯部の排列 WebClass 補綴学1 総義歯実習デモ動画 第60章～63章 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有: 反転授業・実習 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 ウ 技工操作 d 人工歯の選択・排列・削合 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) ⑨人工歯の選択を説明できる。 ⑩可撤性義歯の咬合様式とその意義を説明できる。 | 河相 安彦 飯島 守雄 木本 統康 伊藤 誠康 大久保 昌和 中田 浩史 石井 智浩 矢崎 貴啓 井上 正安 小出 恭代 北村 彩 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 中島 義雄 小川 晃奈志 石渡 幸志 木村 純 宮内 良樹 齋藤 佳奈美 藤 由貴 |
| 2018/11/13 (火) 4時限 14:50～16:20 | 【CD実-8】人工歯排列 (前歯人工歯の排列・臼歯人工歯の排列) | 【授業の一般目標】 上下顎総義歯のフルバランスドオクルージョンに基づく人工歯排列の実際を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 総義歯の人工歯排列ができる 【準備学修項目と準備学修時間】 総義歯補綴学実習便覧 [11] 人工歯排列 (1) 咬合堤の修正～(3) 上顎前歯部の排列 WebClass 補綴学1 総義歯実習デモ動画 第60章～63章 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有: 反転授業・実習 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 ウ 技工操作 d 人工歯の選択・排列・削合 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) ⑨人工歯の選択を説明できる。 ⑩可撤性義歯の咬合様式とその意義を説明できる。 | 河相 安彦 飯島 守雄 木本 統康 伊藤 誠康 大久保 昌和 中田 浩史 石井 智浩 矢崎 貴啓 井上 正安 小出 恭代 北村 彩 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 中島 義雄 小川 晃奈志 石渡 幸志 木村 純 宮内 良樹 齋藤 佳奈美 藤 由貴 |
| 2018/11/20 (火) 2時限 10:40～12:10 | 【PD-11】局部床義歯の人工歯排列および歯肉形成 | 【授業の一般目標】 有床義歯患者の治療を円滑に行うために必要な人工歯排列に関する知識および技能を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 有床義歯の咬合様式とその意義を説明できる。 2. 有床義歯の人工歯排列方法を列挙できる。 3. 総義歯と局部床義歯の咬合様式の違いを説明できる。 4. 局部床義歯の歯肉形成を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 無歯顎補綴治療学: 8章 歯学生のパーソナルデンチャー: 26章 準備学修時間 30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 | 伊藤 誠康 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|---------------------------|---|--|
| 2018/11/20 (火) 2時限 10:40～12:10 | 【PD-11】局部床義歯の人工歯排列および歯肉形成 | 有：ピアインストラクション 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 301教室、第5実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 ウ 技工操作 g 歯肉形成 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 ウ 技工操作 f 人工歯の選択・排列・削合 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ⑨人工歯の選択を説明できる。 ⑩可撤性義歯の咬合様式とその意義を説明できる。 | 伊藤 誠康 |
| 2018/11/20 (火) 3時限 13:10～14:40 | 【CD実-9】人工歯排列（白歯人工歯の排列） | 【授業の一般目標】 上下顎総義歯のフルバランスドオクルージョンに基づく人工歯排列の完成と適切な歯肉形態の付与方法を修得する。 【行動目標（SBOs）】 1. 総義歯の人工歯排列ができる。 2. 総義歯の歯肉形成ができる。 3. 総義歯のろう義歯の咬合調整ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 総義歯補綴学実習便覧 [11] 人工歯排列～[13] 人工歯の総合的削合法 WebClass 補綴学1 総義歯実習デモ動画 第67章～69章 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：反転授業・実習 【学修方略（LS）】 実習 【場所（教室/実習室）】 第5実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 ウ 技工操作 d 人工歯の選択・排列・削合 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ⑨人工歯の選択を説明できる。 ⑩可撤性義歯の咬合様式とその意義を説明できる。 | 河相 安彦 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 中田 浩史 石井 智浩 矢崎 貴啓 井上 正安 小出 恭代 北村 彩 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 中島 義雄 小川 晃奈 石渡 幸志 木村 純 宮内 良樹 佐藤 佳奈美 齋藤 由貴 |
| 2018/11/20 (火) 4時限 14:50～16:20 | 【CD実-9】人工歯排列（白歯人工歯の排列） | 【授業の一般目標】 上下顎総義歯のフルバランスドオクルージョンに基づく人工歯排列の完成と適切な歯肉形態の付与方法を修得する。 【行動目標（SBOs）】 1. 総義歯の人工歯排列ができる。 2. 総義歯の歯肉形成ができる。 3. 総義歯のろう義歯の咬合調整ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 総義歯補綴学実習便覧 [11] 人工歯排列～[13] 人工歯の総合的削合法 WebClass 補綴学1 総義歯実習デモ動画 第67章～69章 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：反転授業・実習 【学修方略（LS）】 実習 【場所（教室/実習室）】 第5実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 | 河相 安彦 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 中田 浩史 石井 智浩 矢崎 貴啓 井上 正安 小出 恭代 北村 彩 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 中島 義雄 小川 晃奈 石渡 幸志 木村 純 宮内 良樹 佐藤 佳奈美 齋藤 由貴 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|--|--|--|
| 2018/11/20 (火) 4時限 14:50～16:20 | 【CD実-9】人工歯 排列（臼歯人工歯 の排列） | ウ 技工操作 d 人工歯の選択・排列・削合 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ⑨人工歯の選択を説明できる。 ⑩可撤性義歯の咬合様式とその意義を説明できる。 | 河相 安彦 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 中田 浩史 石井 智浩 矢崎 貴啓 井上 正安 小出 恭代 北村 彩 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 中島 義雄 小川 晃奈 石渡 幸志 木村 純 宮内 良樹 佐藤 佳奈美 齋藤 由貴 |
| 2018/11/27 (火) 2時限 10:40～12:10 | 【有床7】総義歯 と局部床義歯のろ う義歯の試適、埋 没・重合 | 【授業の一般目標】 総義歯と局部床義歯のろ う義歯の試適、埋没・重合までの手順を説明できる。 【行動目標（SBOs）】 1. ろう義歯指適時の診査項目を説明できる。 2. 有床義歯の埋没から重合まで操作手順を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ろう義歯指適時の診査、埋没から重合までの操作について。 60分。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 講義スライド。 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 301教室、第5実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 ウ 技工操作 f 埋没、重合 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 ウ 技工操作 h 埋没、重合 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。 | 飯島 守雄 木本 統 谷本 安浩 |
| 2018/11/27 (火) 3時限 13:10～14:40 | 【PD実-12】人工 歯排列・歯肉形成・ スプレーイング | 【授業の一般目標】 局部床義歯の人工歯排列と排列後の確認事項と適切な歯肉形成の仕上げ方法を 修得する。 【行動目標（SBOs）】 1. 局部床義歯の人工歯の排列ができる。 2. 局部床義歯の歯肉形成ができる。 3. 流し込みレジンのためのスプレーイングができる。 4. 評価表第9回人工歯排列にチェックを受ける。 【準備学修項目と準備学修時間】 人工歯選択、人工歯排列、歯肉形成 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実習書第10・11回人工歯排列、歯肉形成、Web-classの予習項目（人工歯 排列、歯肉形成） 有：反転授業・実習 【学修方略（LS）】 実習 【場所（教室/実習室）】 第5実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 ウ 技工操作 f 人工歯の選択・排列・削合 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 | 河相 安彦 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 中田 浩史 石井 智浩 矢崎 貴啓 井上 正安 小出 恭代 北村 彩 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 中島 義雄 小川 晃奈 石渡 幸志 木村 純 宮内 良樹 佐藤 佳奈美 齋藤 由貴 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|--|--|---|
| 2018/11/27 (火) 3時限 13:10～14:40 | 【PD実-12】人工 歯排列・歯肉形成・ スプルーイング | 4 部分床義歯による治療 ウ 技工操作 g 歯肉形成 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) ⑨人工歯の選択を説明できる。 ⑩可撤性義歯の咬合様式とその意義を説明できる。 ⑪可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。 | 河相 安彦 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠 大久保 昌和 中田 浩史 石井 智浩 矢崎 貴啓 井上 正安 小出 恭代 北村 彩 渡邊 丈紘 古賀 麻奈 中島 義雄 小川 晃奈 石渡 幸志 木村 純 宮内 良樹 佐藤 佳奈 齋藤 美由 |
| 2018/11/27 (火) 4時限 14:50～16:20 | 【PD実-12】人工 歯排列・歯肉形成・ スプルーイング | 【授業の一般目標】 局部床義歯の人工歯排列と排列後の確認事項と適切な歯肉形成の仕上げ方法を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 局部床義歯の人工歯の排列ができる。 2. 局部床義歯の歯肉形成ができる。 3. 流し込みレジンのためのスプルーイングができる。 4. 評価表第9回人工歯排列にチェックを受ける。 【準備学修項目と準備学修時間】 人工歯選択、人工歯排列、歯肉形成 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実習書第10・11回人工歯排列、歯肉形成、Web-classの予習項目 (人工歯排列、歯肉形成) 有：反転授業・実習 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 ウ 技工操作 f 人工歯の選択・排列・削合 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 ウ 技工操作 g 歯肉形成 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) ⑨人工歯の選択を説明できる。 ⑩可撤性義歯の咬合様式とその意義を説明できる。 ⑪可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。 | 河相 安彦 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠 大久保 昌和 中田 浩史 石井 智浩 矢崎 貴啓 井上 正安 小出 恭代 北村 彩 渡邊 丈紘 古賀 麻奈 中島 義雄 小川 晃奈 石渡 幸志 木村 純 宮内 良樹 佐藤 佳奈 齋藤 美由 |
| 2018/12/04 (火) 2時限 10:40～12:10 | 【有床8】総義歯 と局部床義歯の取り 出し・咬合器再 装着 | 【授業の一般目標】 総義歯と局部床義歯の取り出し・咬合器再装着の操作手順を説明し、その意義について説明できる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 総義歯と局部床義歯の取り出し・咬合器再装着操作手順を説明できる。 2. 総義歯と局部床義歯の取り出し・咬合器再装着の意義について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 重合後の義歯の取り出しについて。 咬合記再装着の目的について。 60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 講義：臨床スライド 有：ピアインストラクション 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 301教室、第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 ウ 技工操作 | 飯島 守雄 木本 統 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|------------------------------------|--|--|
| 2018/12/04 (火) 2時限 10:40～12:10 | 【有床8】 総義歯と局部床義歯の取り出し・咬合器再装着 | c 咬合器装着・調節 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 ウ 技工操作 i 咬合調整(削合)と仕上げ 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) ⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。 ⑬可撤性義歯の装着、調整を説明できる。 | 飯島 守雄 木本 統 |
| 2018/12/04 (火) 3時限 13:10～14:40 | 【有床実-1】 歯肉形成 | 【授業の一般目標】 適切な有床義歯を製作するために必要な歯肉形成の付与方法を修得する。 【行動目標（SBOs）】 1. 歯頸部の形態を付与することができる。 2. 歯根部の形態を付与することができる。 3. 床縁の形態を適切に付与することができる。 4. 研磨面の形態を適切に付与することができる。 5. S字状隆起と口蓋皺壁を適切に付与することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 コンプリートデンチャーテクニック（第6版）p125～129 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 あり：実習 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 第5実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 ウ 技工操作 e 歯肉形成 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) ⑨人工歯の選択を説明できる。 ⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。 | 河相 安彦 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 中田 浩史 石井 智浩 矢崎 貴啓 井上 正安 小出 恭代 北村 彩 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 中島 義雄 小川 晃奈志 石渡 幸志 木村 純 宮内 良樹 齋藤 佳奈美 藤 由貴 |
| 2018/12/04 (火) 4時限 14:50～16:20 | 【有床実-1】 歯肉形成 | 【授業の一般目標】 適切な有床義歯を製作するために必要な歯肉形成の付与方法を修得する。 【行動目標（SBOs）】 1. 歯頸部の形態を付与することができる。 2. 歯根部の形態を付与することができる。 3. 床縁の形態を適切に付与することができる。 4. 研磨面の形態を適切に付与することができる。 5. S字状隆起と口蓋皺壁を適切に付与することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 コンプリートデンチャーテクニック（第6版）p125～129 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 あり：実習 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 第5実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 ウ 技工操作 e 歯肉形成 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) ⑨人工歯の選択を説明できる。 ⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。 | 河相 安彦 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 中田 浩史 石井 智浩 矢崎 貴啓 井上 正安 小出 恭代 北村 彩 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 中島 義雄 小川 晃奈志 石渡 幸志 木村 純 宮内 良樹 齋藤 佳奈美 藤 由貴 |
| 2018/12/11 (火) 2時限 10:40～12:10 | 【有床9】 有床義歯の製作過程①：総義歯（ポスターツアー・相互評価） | 【授業の一般目標】 有床義歯補綴装置の円滑な製作と装着後の問題点に対応できるようになるために必要な知識、技能と態度を修得する。 | 河相 安彦 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|-----------------------------------|--|---|
| 2018/12/11 (火) 2時限 10:40~12:10 | 【有床9】有床義歯の製作過程①：総義歯（ポスターツアー・相互評価） | <p>【行動目標（SBOs）】</p> <p>1. 全部床義歯の製作過程を詳細に説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>無歯顎補綴治療学：11章および12章（P242～269） 歯学生のパーソナルデンチャー：28章および29章（P244～258）</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>301教室で問題解決型グループ学習およびまとめ発表（ポスターツアー形式）</p> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>演習</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 ア 義歯の設計</p> <p>【国家試験出題基準（副）】</p> <p>歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 イ 臨床操作 a 前処置 b 印象採得 c 顎間関係の記録 d ろう義歯の試適 e 装着</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ⑫可撤性義歯の製作過程を説明できる。 ⑬可撤性義歯の装着、調整を説明できる。 ⑭可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。</p> | 大久保 昌和 中田 浩史 石井 智浩 矢崎 貴啓 井上 正安 小出 恭代 北村 彩 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 中島 義雄 小川 晃奈志 石渡 幸志 木村 純 宮内 良樹 佐藤 佳奈美 齋藤 由貴 |
| 2018/12/11 (火) 3時限 13:10~14:40 | 【有床実-2】テンチのコア法・重合準備（フラスク埋没とコア法埋没） | <p>【授業の一般目標】</p> <p>総義歯と局部床義歯を製作するためにろう義歯の埋没を行うことができる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <p>1. 加熱重合のためのフラスク埋没ができる。 2. 流し込みレジンのためのスプルーイングができる。 3. 流蟻ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>総義歯補綴学実習便覧 [16] 仮床義歯のフラスコ内石膏埋没～ [17] 流蟻及びレジン分離剤の塗布 WebClass 補綴学1 総義歯実習デモ動画 第74章～76章</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>局部床義歯実習書第12回レジン流し込み、Web-classの予習項目（レジン填入） 有：反転授業・実習</p> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>301教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 ウ 技工操作 h 埋没、重合</p> <p>【国家試験出題基準（副）】</p> <p>歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 ウ 技工操作 f 埋没、重合</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。</p> | 河相 安彦 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 中田 浩史 石井 智浩 矢崎 貴啓 井上 正安 小出 恭代 北村 彩 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 中島 義雄 小川 晃奈志 石渡 幸志 木村 純 宮内 良樹 佐藤 佳奈美 齋藤 由貴 |
| 2018/12/11 (火) 4時限 14:50~16:20 | 【有床実-2】テンチのコア法・重合準備（フラスク埋没とコア法埋没） | <p>【授業の一般目標】</p> <p>総義歯と局部床義歯を製作するためにろう義歯の埋没を行うことができる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <p>1. 加熱重合のためのフラスク埋没ができる。 2. 流し込みレジンのためのスプルーイングができる。 3. 流蟻ができる。</p> | 河相 安彦 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 中田 浩史 石井 智浩 矢崎 貴啓 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|--|--|---|
| 2018/12/11 (火) 4時限 14:50～16:20 | 【有床実-2】 テンチのコア法・重合準備 (フラスコ埋設とコア法埋設) | <p>【準備学修項目と準備学修時間】 総義歯補綴学実習便覧 [16] 仮床義歯のフラスコ内石膏埋没～ [17] 流鏝及びレジン分離剤の塗布 WebClass 補綴学1 総義歯実習デモ動画 第74章～76章</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 局部床義歯実習書第12回レジン流し込み、Web-classの予習項目 (レジン填入) 有：反転授業・実習</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 ウ 技工操作 h 埋没、重合</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 ウ 技工操作 f 埋没、重合</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) ⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。</p> | 井上 正安 小出 恭代 北村 彩 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 中島 義雄 小川 晃奈志 石渡 幸志 木村 純 宮内 良樹 内藤 佳奈美 齋藤 由貴 |
| 2018/12/18 (火) 2時限 10:40～12:10 | 【有床10】 有床義歯の製作過程②：局部床義歯 (ポスターツアー・相互評価) | <p>【授業の一般目標】 有床義歯補綴装置の円滑な製作と装着後の問題点に対応できるようになるために必要な知識、技能と態度を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 部分床義歯の製作過程を詳細に説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 無歯顎補綴治療学：11章および12章 (P242～269) 歯学生のパーソナルデンチャー：28章および29章 (P244～258)</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 301教室で問題解決型グループ学習およびまとめ発表 (ポスターツアー形式)</p> <p>【学修方略 (LS)】 演習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 ア 義歯の設計 a 設計の原則</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 ア 義歯の設計 b 義歯の構成要素 a 前処置 b 印象採得 c 顎間関係の記録 d フレームワークの試適 e ろう義歯の試適 f 装着</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) ⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。 ⑪可撤性義歯の製作過程を説明できる。 ⑬可撤性義歯の装着、調整を説明できる。</p> | 河相 安彦 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 中田 浩史 石井 智浩 矢崎 貴啓 井上 正安 小出 恭代 北村 彩 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 中島 義雄 小川 晃奈志 石渡 幸志 木村 純 宮内 良樹 内藤 佳奈美 齋藤 由貴 |
| 2018/12/18 (火) 3時限 13:10～14:40 | 【有床実-3】 流鏝・レジン填入と加熱重合 | <p>【授業の一般目標】 総義歯と局部床義歯を製作するためにレジンの填入、重合を行うことができる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 加熱重合レジンの填入ができる。 2. 加熱重合レジンの重合ができる。 3. 流し込レジンの填入ができる。 4. 流し込みレジンの重合ができる。</p> | 河相 安彦 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 中田 浩史 石井 智浩 矢崎 貴啓 井上 正安 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|-----------------------------|--|--|
| 2018/12/18 (火) 3時限 13:10～14:40 | 【有床実-3】流蠟・レジン填入と加熱重合 | <p>【準備学修項目と準備学修時間】 総義歯補綴学実習便覧 [18] レジン填入ならびに温成 WebClass 補綴学1 総義歯実習デモ動画 第77章</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 Web-classの予習項目 (レジン填入) 有: 反転授業・実習</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 ウ 技工操作 h 埋没、重合</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 ウ 技工操作 f 埋没、重合</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) ⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。</p> | 小出 恭代 北村 彩 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 中島 義雄 小川 晃奈 石渡 幸志 木村 純 宮内 良樹 佐藤 佳奈美 齋藤 由貴 |
| 2018/12/18 (火) 4時限 14:50～16:20 | 【有床実-3】流蠟・レジン填入と加熱重合 | <p>【授業の一般目標】 総義歯と局部床義歯を製作するためにレジンの填入、重合を行うことができる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 加熱重合レジンの填入ができる。 2. 加熱重合レジンの重合ができる。 3. 流し込レジンの填入ができる。 4. 流し込みレジンの重合ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 総義歯補綴学実習便覧 [18] レジン填入ならびに温成 WebClass 補綴学1 総義歯実習デモ動画 第77章</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 Web-classの予習項目 (レジン填入) 有: 反転授業・実習</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 ウ 技工操作 h 埋没、重合</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 ウ 技工操作 f 埋没、重合</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) ⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。</p> | 河相 安彦 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 中田 浩史 石井 智浩 矢崎 貴啓 井上 正安 小出 恭代 北村 彩 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 中島 義雄 小川 晃奈 石渡 幸志 木村 純 宮内 良樹 佐藤 佳奈美 齋藤 由貴 |
| 2019/01/15 (火) 2時限 10:40～12:10 | 【有床11】総義歯と局部床義歯の装着・調整・指導・効果 | <p>【授業の一般目標】 有床義歯補綴装置を装着および調整するにあたり必要な主訴に対する検査項目、検査法および対処に関する臨床的な知識および技能を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 完成義歯の検査材料を述べるができる。 2. 咬合検査の方法を述べるができる。 3. 完成義歯の装着時の診察項目を列挙できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 無歯顎補綴治療学: 11章および12章 歯学生のパーソナルデンチャー: 28章および29章</p> | 河相 安彦 飯島 守雄 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|------------------------------|---|--|
| 2019/01/15 (火) 2時限 10:40~12:10 | 【有床11】 総義歯と局部床義歯の装着：調整・指導・効果 | <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 あり：ピアインストラクション、場合により資料事前配布、反転授業を検討</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 イ 臨床操作 f 装着</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 ウ 技工操作 i 咬合調整(削合)と仕上げ 5 全部床義歯による治療 イ 臨床操作 e 装着 g 咬合調整(削合)と仕上げ</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) ⑬可撤性義歯の装着、調整を説明できる。 ⑭可撤性義歯のメンテナンス、リライン及び修理を説明できる。</p> | 河相 安彦 飯島 守雄 |
| 2019/01/15 (火) 3時限 13:10~14:40 | 【有床実-4】 義歯の取り出し・研磨 | <p>【授業の一般目標】 レジン重合後の総義歯と局部床義歯のでフラスキングを安全に行い、適切な研磨法を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 加熱重合レジンの取り出しと研磨ができる。 2. 流し込みレジンの取り出しと研磨ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 取り出し、研磨</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 掘り出し、研磨、調整、Web-classの予習項目（床研磨、レーズによる研磨） 有：反転授業・実習</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 ウ 技工操作 i 咬合調整(削合)と仕上げ</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 ウ 技工操作 g 咬合調整(削合)と仕上げ</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) ⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。</p> | 河相 安彦 飯島 守雄 木本 統康 伊藤 誠 大久保 昌和 中田 浩史 石井 智浩 矢崎 貴啓 井上 正安 小出 恭代 北村 彩 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 中島 義雄 小川 晃奈 石渡 幸志 木村 純 宮内 良樹 藤 佐佳奈 齋 藤 由貴 |
| 2019/01/15 (火) 4時限 14:50~16:20 | 【有床実-4】 義歯の取り出し・研磨 | <p>【授業の一般目標】 レジン重合後の総義歯と局部床義歯のでフラスキングを安全に行い、適切な研磨法を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 加熱重合レジンの取り出しと研磨ができる。 2. 流し込みレジンの取り出しと研磨ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 取り出し、研磨</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 掘り出し、研磨、調整、Web-classの予習項目（床研磨、レーズによる研磨） 有：反転授業・実習</p> | 河相 安彦 飯島 守雄 木本 統康 伊藤 誠 大久保 昌和 中田 浩史 石井 智浩 矢崎 貴啓 井上 正安 小出 恭代 北村 彩 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 中島 義雄 小川 晃奈 石渡 幸志 木村 純 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|--|--|---|
| 2019/01/15 (火) 4時限 14:50～16:20 | 【有床実-4】義歯の取り出し・研磨 | <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 ウ 技工操作 i 咬合調整(削合)と仕上げ</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 ウ 技工操作 g 咬合調整(削合)と仕上げ</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) ⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。</p> | 宮内 良樹 佐藤 佳奈美 齋藤 由貴 |
| 2019/01/22 (火) 2時限 10:40～12:10 | 【有床12】総義歯と局部床義歯の装着後の経過観察：変化・評価・修理・リライン | <p>【授業の一般目標】 有床義歯補綴装置を装着および調整するにあたり必要な主訴に対する検査項目、検査法および対処に関する臨床的な知識および技能を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 義歯装着後の生体の変化を説明できる。 2. 義歯装着後の義歯の変化を説明できる。 3. 定期検査の重要性を説明できる。 4. 残存組織の変化への対応を説明できる。 5. 義歯の修理方法を述べるができる。 6. リラインとリベースの違いを述べるができる。 7. リラインの適応症を述べるができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 無歯顎補綴治療学：244～262 歯学生のパーソナルデンチャー：28章および29章</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 あり：ピアインストラクション、場合により資料事前配布、反転授業を検討</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 8 指導と管理 オ リコールとメンテナンス b 残存組織の変化とその対応</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 8 指導と管理 オ リコールとメンテナンス c 咬合の変化とその対応 d 機能低下とその対応 カ 治療効果の評価</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) ⑬可撤性義歯の装着、調整を説明できる。 ⑭可撤性義歯のメンテナンス、リライン及び修理を説明できる。</p> | 河相 安彦 飯島 守雄 |
| 2019/01/22 (火) 3時限 13:10～14:40 | 【有床実-5】完成義歯の口腔内試適・咬合器再装着と削合 | <p>【授業の一般目標】 完成した総義歯と局部床義歯を患者に使用してもらうために適切な装着時の調整方法について修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 総義歯の口腔内試適ができる。 2. 局部床義歯の口腔内試適ができる。 3. 総義歯の咬合器リマウントができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 総義歯補綴学実習便覧 [19] デフラスキング～[23] 装着 WebClass 補綴学1 総義歯実習デモ動画 第78章～86章</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 局部床義歯実習書第16回口腔内装着) 有：反転授業・実習</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> | 河相 安彦 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 中田 浩史 石井 智浩 矢崎 貴啓 井上 正安 小出 恭代 北村 彩 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 中島 義雄 小川 晃奈 石渡 幸志 木村 純 宮内 良樹 佐藤 佳奈美 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|---|--|--|
| 2019/01/22 (火) 3時限 13:10～14:40 | 【有床実-5】完成 義歯の口腔内試適・ 咬合器再装着と削 合 | 実習 【場所（教室/実習室）】 301教室、第5実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 ウ 技工操作 i 咬合調整(削合)と仕上げ 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 ウ 技工操作 g 咬合調整(削合)と仕上げ 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。 ⑭可撤性義歯のメンテナンス、リライン及び修理を説明できる。 | 齋藤 由貴 |
| 2019/01/22 (火) 4時限 14:50～16:20 | 【有床実-5】完成 義歯の口腔内試適・ 咬合器再装着と削 合 | 【授業の一般目標】 完成した総義歯と局部床義歯を患者に使用してもらうために適切な装着時の調 整方法について修得する。 【行動目標（SBOs）】 1. 総義歯の口腔内試適ができる。 2. 局部床義歯の口腔内試適ができる。 3. 総義歯の咬合器リマウントができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 総義歯補綴学実習便覧 [19] デフラスキング～[23] 装着 WebClass 補綴学1 総義歯実習デモ動画 第78章～86章 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 局部床義歯実習書第16回口腔内装着） 有：反転授業・実習 【学修方略（LS）】 実習 【場所（教室/実習室）】 301教室、第5実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 ウ 技工操作 i 咬合調整(削合)と仕上げ 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 ウ 技工操作 g 咬合調整(削合)と仕上げ 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。 ⑭可撤性義歯のメンテナンス、リライン及び修理を説明できる。 | 河相 安彦 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 中田 浩史 石井 智浩 矢崎 貴啓 井上 正安 小出 恭代 北村 彩 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 中島 義雄 小川 晃奈 石渡 幸志 木村 純 宮内 良樹 佐藤 佳奈美 齋藤 由貴 |
| 2019/01/29 (火) 2時限 10:40～12:10 | 【平常試験⑥】 (10:40～11:30) 11:30～試験解説 | 【準備学修項目と準備学修時間】 範囲：CD4～6, PD 9～11, 有床8, 11, 12, MCQ 45問 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 【学修方略（LS）】 その他 【場所（教室/実習室）】 301教室、第5実習室 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ⑥可撤性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明でき る。 ⑦歯の欠損した歯列での下顎位・下顎運動の記録法を説明できる。 ⑧調節性咬合器の基本的操作方法、フェイスボウトランスファー、チェックバ イト法を説明できる。 ⑨人工歯の選択を説明できる。 | 河相 安彦 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|--|---|--|
| 2019/01/29 (火) 2時限 10:40～12:10 | 【平常試験⑥】 (10:40～11:30) 11:30～試験解説 | ⑩可撤性義歯の咬合様式とその意義を説明できる。 ⑪可撤性義歯の製作過程を説明できる。 ⑫可撤性義歯の装着、調整を説明できる。 | 河相 安彦 飯島 守雄 木本 統康 伊藤 誠康 大久保 昌和 |
| 2019/01/29 (火) 3時限 13:10～14:40 | 【有床実-6】完成 総義歯の装着と調整 | <p>【授業の一般目標】 完成した総義歯と局部床義歯を患者に使用してもらうために適切な装着時の調整方法について修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 総義歯の口腔内試適ができる。 2. 局部床義歯の口腔内試適ができる。 3. 総義歯の咬合器リマウントができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 総義歯補綴学実習便覧 [19] デフラスキング～[23] 装着 WebClass 補綴学1 総義歯実習デモ動画 第78章～86章</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 局部床義歯実習書第16回口腔内装着) 有：反転授業・実習</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 イ 臨床操作 f 装着</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 ウ 技工操作 i 咬合調整(削合)と仕上げ 5 全部床義歯による治療 イ 臨床操作 e 装着 g 咬合調整(削合)と仕上げ</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) ⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。 ⑫可撤性義歯のメンテナンス、リライン及び修理を説明できる。</p> | 河相 安彦 飯島 守雄 木本 統康 伊藤 誠康 大久保 昌和 中田 浩史 石井 智浩 矢崎 貴啓 井上 正安 小出 恭代 北村 彩 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 中島 義雄 小川 晃奈志 石渡 幸志 木村 純 宮内 良樹 佐藤 佳奈美 齋藤 由貴 |
| 2019/01/29 (火) 4時限 14:50～16:20 | 【有床実-6】完成 総義歯の装着と調整 | <p>【授業の一般目標】 完成した総義歯と局部床義歯を患者に使用してもらうために適切な装着時の調整方法について修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 総義歯の口腔内試適ができる。 2. 局部床義歯の口腔内試適ができる。 3. 総義歯の咬合器リマウントができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 総義歯補綴学実習便覧 [19] デフラスキング～[23] 装着 WebClass 補綴学1 総義歯実習デモ動画 第78章～86章</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 局部床義歯実習書第16回口腔内装着) 有：反転授業・実習</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 イ 臨床操作 f 装着</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 ウ 技工操作 i 咬合調整(削合)と仕上げ 5 全部床義歯による治療 イ 臨床操作 e 装着 g 咬合調整(削合)と仕上げ</p> | 河相 安彦 飯島 守雄 木本 統康 伊藤 誠康 大久保 昌和 中田 浩史 石井 智浩 矢崎 貴啓 井上 正安 小出 恭代 北村 彩 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 中島 義雄 小川 晃奈志 石渡 幸志 木村 純 宮内 良樹 佐藤 佳奈美 齋藤 由貴 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|----------------------------|--|--|
| 2019/01/29 (火) 4時限 14:50～16:20 | 【有床実-6】完成 総義歯の装着と調 整 | 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) ⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。 ⑭可撤性義歯のメンテナンス、リライン及び修理を説明できる。 | 河相 安彦 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 中田 浩史 石井 智浩 矢崎 貴啓 井上 正安 小出 恭代 北村 彩 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 中島 義雄 小川 晃奈 石渡 幸志 木村 純 宮内 良樹 佐藤 佳奈美 齋藤 由貴 |

クラウンブリッジ補綴学

| | | |
|-----|----|------------------------------|
| 年次 | 学期 | 学修ユニット責任者 |
| 3年次 | 通年 | 小林 平 (クラウンブリッジ補綴学・口腔インプラント学) |

| | |
|--------------------------|--|
| 学修ユニット 学修目標 (GIO) | 歯の組織が欠損した患者の病因および病態の診断と、それに伴う機能・形態・心理社会的障害の回復を目的とした治療計画の立案および処置を行うために必要なクラウンブリッジ補綴学に関する知識・技能および態度を修得する。 |
| 担当教員 | 小林 平、村上 洋、大村 祐史、井下田 繁子、北川 剛至、田中 孝明、後藤 治彦、青木 直子、内堀 聡史、加藤 由佳子、上里 ちひろ、三浦 千晶、網野 雄太、青山 竣、山本 貴雅、※渡辺 官、※増田 美樹子、會田 雅啓、中島 正 |
| 教科書 | クラウンブリッジ補綴学 第5版 クラウンブリッジ補綴学実習指針 矢谷博文ほか編 クラウンブリッジ補綴学講座 医歯薬出版 クラウンブリッジ補綴学講座 クラウンブリッジ補綴学実習指針 クラウンブリッジ補綴学講座 クラウンブリッジ補綴学講座 |
| 参考図書 | クラウンブリッジテクニク 石橋寛二ほか編 医歯薬出版 |
| 評価方法 (EV) | 平常試験 (平常試験①～⑥の平均：50%)，実習 (補綴学導入・顎口腔系の機能学・有床義歯補綴学・クラウン補綴学における実習評価，実技試験およびPBLの評価など：50%) を最終評価とする。ただし、講義・実習それぞれ1/5以上欠席した場合、評価点は0-60点とする。また、講義・実習いずれかが合格点に達しない場合、評価点は60点未満とする。なお、平常試験の再試験は行わない。 |
| 学生への メッセージ オフィスアワー | <p>【クラウンブリッジ補綴学講義】 歯冠架工義歯補綴は臨床で最も多く行われる治療の1つである。講義内容も非常に多いので復習を十分に行うこと。また、不明な点があれば必ず質問し、疑問をもったまま次回の講義に臨まないように心がけて欲しい。全部製造冠の製作法を通じて、適合の良い歯冠補綴物を製作するための理論を学び、さらに生体に調和した補綴物とはいかなるものであるかを習得する。これらを習得するためには口腔内のみならず、口腔周囲組織の生理学的および解剖学的知識ならびに歯科用材料の諸性質を理解する必要がある。</p> <p>【クラウンブリッジ補綴学実習】 講義を基に、歯冠架工義歯補綴学の実習を通して歯科材料の基礎理論を背景とした材料の応用、正しいインスツルメントの取り扱い方法および臨床に応用できる技術を習得することを目標に段階的に実習を行う。全部製造冠の作製過程および手技を学習し、臨床に応用可能な製作物を作製できる能力を養う。実習で身につけた技術は、歯科医として将来必ず役立つものであるので、進んで学習し実習を行うこと。</p> |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|---|---|------|
| 2018/09/21 (金) 2時限 10:40～12:10 | クラウンブリッジ補綴学の定義 クラウンブリッジ治療の目的と健康科学 クラウンブリッジ治療の利益と不利益 | <p>【授業の一般目標】 クラウンブリッジ治療の臨床的意義と重要性を理解する。 クラウンブリッジの要件を理解する。 クラウンの種類と特徴を理解する。 クラウンの適応症を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. クラウンブリッジ治療の臨床的意義と重要性を説明できる。 2. クラウンブリッジの要件を述べることができる。 3. クラウンの種類と特徴を述べることができる。 4. クラウンの適応症を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 クラウンブリッジ治療の目的と治療の流れについて学ぶ。 クラウンの種類と特徴について学ぶ。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 マルチメディア</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 2 診察、検査、診断 エ 治療計画の立案</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4 - (1) クラウンブリッジによる治療 ①クラウンブリッジの意義と具備条件を説明できる。 ②クラウンブリッジの種類、特徴及び製作法 (CAD/CAM を含む) を説明できる。</p> | 小林 平 |
| 2018/09/21 (金) 3時限 13:10～14:40 | クラウンブリッジ補綴学の定義 クラウンブリッジ治療の目的と意義 クラウンブリッジ治療の流れ | <p>【授業の一般目標】 クラウンブリッジ治療の臨床的意義と重要性を理解する。 クラウンブリッジの要件を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. クラウンブリッジ意義と具備条件を説明できる。</p> | 小林 平 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|--|--|--|
| 2018/09/21 (金) 3時限 13:10～14:40 | クラウンブリッジ 治療の歴史 クラウンブリッジ 治療と健康科学 | 2. クラウンブリッジ治療の臨床的意義と重要性を説明できる。 3. クラウンブリッジの要件を述べるができる。 4. 支台装置の種類について述べるができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 クラウンブリッジ治療の目的と治療の流れについて学ぶ。 クラウンの装置の種類と特徴について学ぶ。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 マルチメディア 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ア クラウンブリッジの設計 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 ①クラウンブリッジの意義と具備条件を説明できる。 ②クラウンブリッジの種類、特徴及び製作法 (CAD/CAM を含む) を説明できる。 | 小林 平 |
| 2018/09/21 (金) 4時限 14:50～16:20 | 器具の配布 研究用模型の製作 | 【授業の一般目標】 クラウンブリッジ実習に必要な器具の名称を列挙する。 適切な既製トレーの選択ができる。 適切な予備印象採得を行うことができる。 適切な研究用模型を製作することができる。 【行動目標 (SBOs)】 1. クラウンブリッジ実習に必要な器具の名称を列挙できる。 2. 適切な既製トレーの選択ができる。 3. 適切な予備印象採得を行うことができる。 4. 適切な研究用模型を製作することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 授業項目に該当する実習書の範囲を熟読する。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 第5実習室 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ウ 技工操作 a ロストワックス法による製作 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 ①研究用模型と作業用模型の製作方法を説明できる。 D 歯科医療機器 (歯科材料・器械・器具) D-2 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法 ②歯冠修復・義歯用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。 D-1 歯科医療機器 (歯科材料・器械・器具) の特性と用途 ③診療用器械・器具の構造と特性を説明できる。 | 小林 平 村上 洋 大村 祐史 井下 田 繁子 北川 剛至 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 直史 渡辺 官 増田 樹子 加藤 由佳子 上里 美由希 三浦 千晶 中島 正 青山 峻 山本 貴雅 會田 雅啓 網野 雄太 |
| 2018/09/28 (金) 2時限 10:40～12:10 | 支台歯形成 歯肉圧排 | 【授業の一般目標】 有髄歯の特徴を理解する。 歯質の切削器具の特徴を述べるができる。 歯科麻酔の特徴、麻酔操作における注意点を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 有髄歯の特徴を述べるができる。 2. 歯質の切削器具の特徴を述べるができる。 3. 歯科麻酔の特徴、麻酔操作における注意点を述べるができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 有髄歯の特徴を説明できる。 歯質の切削器具の名称と使用法について述べるができる。 歯科麻酔の特徴、麻酔操作における注意点を述べるができる。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 マルチメディア 【学修方略 (LS)】 講義 | 小林 平 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|---------------------|--|--|
| 2018/09/28 (金) 2時限 10:40~12:10 | 支台歯形成 歯肉圧排 | <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 イ 臨床操作 b 支台歯形成</p> <p>【コアカリキュラム】 F シミュレーション実習（模型実習・相互演習（実習）） F-3 基本的臨床技能 F-3-4) 歯質と歯の欠損の治療 ③クラウンブリッジによる補綴治療の書く基本的操作を実施できる。</p> | 小林 平 |
| 2018/09/28 (金) 3時限 13:10~14:40 | 支台歯形成 | <p>【授業の一般目標】 適切なハンドピースの操作ができる 適切な支台歯形成のためのバーの選択ができる。 各種クラウンに適した支台歯形成ができる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 適切なハンドピースの操作をする。 2. 適切な支台歯形成のためのバーの選択を行う。 3. クラウンの支台歯形成の手順を学ぶ。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 適切なハンドピースの操作ができる。 適切な支台歯形成を行うためのバーの選択ができる。 各種クラウンに適した支台歯形成の手順を学ぶ。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 第5実習室</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 イ 臨床操作 b 支台歯形成</p> <p>【コアカリキュラム】 G 臨床実習 G-3 基本的臨床技能 ⑦歯質の欠損に対する歯冠補綴治療ができる。</p> | 小林 平 村上 祐史 大村 繁子 井下 剛 北川 至 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 渡辺 官 増田 美樹子 加藤 由佳子 上里 ちひろ 三浦 千晶 中島 正 青山 峻 山本 貴雅 會田 雅啓 網野 雄太 |
| 2018/09/28 (金) 4時限 14:50~16:20 | 支台歯形成 | <p>【授業の一般目標】 適切なハンドピースの操作ができる 適切な支台歯形成のためのバーの選択ができる。 各種クラウンに適した支台歯形成ができる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 適切なハンドピースの操作をする。 2. 適切な支台歯形成を行うためのバーの選択をする。 3. 適切なクラウンの支台歯形成ができる</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 適切なハンドピースの操作ができる。 適切な支台歯形成を行うためのバーの選択ができる。 各種クラウンに適した支台歯形成の手順を学ぶ。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 第5実習室</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 イ 臨床操作 b 支台歯形成</p> <p>【コアカリキュラム】 G 臨床実習 G-3 基本的臨床技能 ⑦歯質の欠損に対する歯冠補綴治療ができる。</p> | 小林 平 村上 祐史 大村 繁子 井下 剛 北川 至 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 渡辺 官 増田 美樹子 加藤 由佳子 上里 ちひろ 三浦 千晶 中島 正 青山 峻 山本 貴雅 會田 雅啓 網野 雄太 |
| 2018/10/05 (金) 2時限 10:40~12:10 | プロビジョナルレ ストレーション | <p>【授業の一般目標】 プロビジョナルレストレーションの目的について理解する。 プロビジョナルレストレーションの要件について理解する。 プロビジョナルレストレーションの製法、使用器具について述べること ができる。 仮着用セメントの種類と特徴について述べることことができる。</p> | 小林 平 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|--------------------|--|--|
| 2018/10/05 (金) 2時限 10:40~12:10 | プロビジョナルレストレーション | <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. プロビジョナルレストレーションの目的について述べることができる。 2. プロビジョナルレストレーションの要件について述べることができる。 3. プロビジョナルレストレーションの製作法, 使用器具について述べるができる。 4. 仮着用セメントの種類と特徴について述べるができる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】 プロビジョナルレストレーションの目的, 製作法, 要件, 使用器具について学ぶ</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 マルチメディア</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 イ 臨床操作 e プロビジョナルレストレーション</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 ⑦プロビジョナルレストレーションの意義とその製作法を説明できる。</p> | 小林 平 |
| 2018/10/05 (金) 3時限 13:10~14:40 | プロビジョナルレストレーションの製作 | <p>【授業の一般目標】 プロビジョナルレストレーションの製作に必要な材料, 器具およびそれらの使用法を習得する。 歯種に適したプロビジョナルレストレーションの製作ができる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. プロビジョナルレストレーションの製作に必要な材料, 器具およびそれらの使用法を習得する。 2. 歯種に適したプロビジョナルレストレーションの製作ができる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】 プロビジョナルレストレーションの製作に必要な材料, 器具およびそれらの使用法を学ぶ。 歯種に適したプロビジョナルレストレーションの製作するための歯の解剖学について復習する。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 第5実習室</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 イ 臨床操作 e プロビジョナルレストレーション</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 ⑦プロビジョナルレストレーションの意義とその製作法を説明できる。</p> | 小林 平 村上 洋 大村 祐史 井下田 繁子 北川 剛至 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 渡辺 官 増田 美樹子 加藤 由佳子 上里 ちひろ 三浦 千晶 中島 正 青山 峻 山本 貴雅 會田 雅啓 網野 雄太 |
| 2018/10/05 (金) 4時限 14:50~16:20 | プロビジョナルレストレーションの製作 | <p>【授業の一般目標】 プロビジョナルレストレーションの製作に必要な材料, 器具およびそれらの使用法を習得する。 歯種に適したプロビジョナルレストレーションの製作ができる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. プロビジョナルレストレーションの製作に必要な材料, 器具およびそれらの使用法を習得する。 2. 歯種に適したプロビジョナルレストレーションの製作ができる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】 プロビジョナルレストレーションの製作に必要な材料, 器具およびそれらの使用法を学ぶ。 歯種に適したプロビジョナルレストレーションの製作するための歯の解剖学について復習する。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 第5実習室</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> | 小林 平 村上 洋 大村 祐史 井下田 繁子 北川 剛至 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 渡辺 官 増田 美樹子 加藤 由佳子 上里 ちひろ 三浦 千晶 中島 正 青山 峻 山本 貴雅 會田 雅啓 網野 雄太 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|-------------------------------|--|---|
| 2018/10/05 (金) 4時限 14:50～16:20 | プロビジョナルレストレーションの製作 | <p>第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 イ 臨床操作 e プロビジョナルレストレーション</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 ⑦プロビジョナルレストレーションの意義とその製作法を説明できる。</p> | <p>小林 平 村上 洋 大村 祐史 井下田 繁子 北川 剛至 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 渡辺 官 増田 美樹子 加藤 由佳子 上里 ちひろ 三浦 千晶 中島 正 青山 竣 山本 貴雅 會田 雅啓 網野 雄太</p> |
| 2018/10/12 (金) 2時限 10:40～12:10 | 個人トレー 印象採得 | <p>【授業の一般目標】</p> <p>印象採得の目的について理解する。 印象材の種類、分類について理解する。 印象採得に必要な器具、方法について理解する。 歯肉圧排の目的、方法について再度、理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <p>1. 印象採得の目的について述べるができる。 2. 印象材の種類、分類について述べるができる。 3. 印象採得に必要な器具、方法について述べるができる。 4. 歯肉圧排の目的、方法について述べるができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>印象材の種類、分類、特徴、印象採得の方法について学ぶ。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>マルチメディア</p> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 イ 臨床操作 d 印象採得</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 ⑤クラウンブリッジ製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。 ⑨研究用模型と作業用模型の製作方法を説明できる。</p> | <p>小林 平</p> |
| 2018/10/12 (金) 3時限 13:10～14:40 | 個人トレーの製作 精密印象採得 作業模型の製作 | <p>【授業の一般目標】</p> <p>個人トレー製作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 適切な個人トレーの製作ができる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <p>1. 個人トレー製作に必要な器具および材料を適切に使用する。 2. 適切な個人トレーを製作する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>適切な個人トレー製作に必要な知識、器具および材料を確認する。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>第5実習室</p> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 イ 臨床操作 d 印象採得</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 ⑤クラウンブリッジ製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。 ⑨研究用模型と作業用模型の製作方法を説明できる。</p> | <p>小林 平 村上 洋 大村 祐史 井下田 繁子 北川 剛至 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 渡辺 官 増田 美樹子 加藤 由佳子 上里 ちひろ 三浦 千晶 中島 正 青山 竣 山本 貴雅 會田 雅啓 網野 雄太</p> |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|---------------------------------|--|--|
| 2018/10/12 (金) 4時限 14:50～16:20 | 個人トレーの製作 精密印象採得 作業模型の製作 | <p>【授業の一般目標】 個人トレー製作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 適切な個人トレーの製作ができる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 個人トレー製作に必要な器具および材料を適切に使用する。 2. 適切な個人トレーを製作する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 適切な個人トレー製作に必要な知識, 器具および材料を確認する。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 第5実習室</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 イ 臨床操作 d 印象採得</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 ⑤クラウンブリッジ製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。 ⑧クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。 ⑨研究用模型と作業用模型の製作方法を説明できる。</p> | 小林 平 村上 洋 大村 祐史 井下 剛至 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 渡辺 官 増田 美樹子 加藤 由佳子 上里 ちひろ 三浦 千晶 中島 正 青山 峻 山本 貴雅 會田 雅啓 網野 雄太 |
| 2018/10/19 (金) 2時限 10:40～12:10 | 印象採得 歯肉圧排 | <p>【授業の一般目標】 印象採得の目的について理解する。 印象材の種類, 分類について理解する。 印象採得に必要な器具, 方法について理解する。 歯肉圧排の目的, 方法について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 印象採得の目的について述べることができる。 2. 印象材の種類, 分類について述べることができる。 3. 印象採得に必要な器具, 方法について述べることができる。 4. 歯肉圧排の目的, 方法について述べることができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 印象材の種類, 分類, 特徴, 印象採得の方法について学ぶ。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 マルチメディア</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 イ 臨床操作 d 印象採得</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 ⑤クラウンブリッジ製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。 ⑧クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。 ⑨研究用模型と作業用模型の製作方法を説明できる。</p> | 田中 孝明 |
| 2018/10/26 (金) 2時限 10:40～12:10 | 作業模型 作業模型の咬合器 付着 歯型の調整 | <p>【授業の一般目標】 作業模型の要件について理解する。 作業模型の種類と特徴について理解する。 上顎作業模型の咬合器への付着法について理解する。 上顎模型に対する下顎模型の付着法について理解する。 顎路および顎路角の調整法について理解する。 歯型の分割, 調整法について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 作業模型の要件について述べることができる。 2. 作業模型の種類と特徴について述べることができる。 3. 上顎作業模型の咬合器への付着法について述べることができる。 4. 上顎模型に対する下顎模型の付着法について述べることができる。 5. 顎路および顎路角の調整法について述べることができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 作業模型の要件と種類, 特徴について学ぶ。 作業模型の咬合器付着の意味について学ぶ。</p> | 大村 祐史 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|---------------------------------|--|---|
| 2018/10/26 (金) 2時限 10:40～12:10 | 作業模型 作業模型の咬合器 付着 歯型の調整 | <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 マルチメディア</p> <p>【学修方略（L S）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 イ 臨床操作 f 顎間関係の記録</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 イ 臨床操作 d 印象採得 f 顎間関係の記録 a ロストワックス法による製作</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(1) クラウンブリッジによる治療 ⑧クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。 ⑨研究用模型と作業用模型の製作方法を説明できる。</p> | 大村 祐史 |
| 2018/10/26 (金) 3時限 13:10～14:40 | 個人トレーの製作 精密印象採得 作業模型の製作 | <p>【授業の一般目標】 個人トレー製作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 適切な個人トレーの製作ができる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 個人トレー製作に必要な器具および材料を適切に使用する。 2. 適切な個人トレーを製作する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 適切な個人トレー製作に必要な知識，器具および材料を確認する。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 第5実習室</p> <p>【学修方略（L S）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 イ 臨床操作 d 印象採得</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(1) クラウンブリッジによる治療 ⑤クラウンブリッジ製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。 ⑧クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。 ⑨研究用模型と作業用模型の製作方法を説明できる。</p> | 小林 平 村上 洋 大村 祐史 井下 繁子 北川 剛至 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 渡辺 官 増田 美樹子 加藤 由佳子 上里 ちひろ 三浦 千晶 中島 正 青山 峻 山本 貴雅 會田 雅啓 網野 雄太 |
| 2018/10/26 (金) 4時限 14:50～16:20 | 個人トレーの製作 精密印象採得 作業模型の製作 | <p>【授業の一般目標】 個人トレー製作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 適切な個人トレーの製作ができる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 個人トレー製作に必要な器具および材料を適切に使用する。 2. 適切な個人トレーを製作する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 適切な個人トレー製作に必要な知識，器具および材料を確認する。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 第5実習室</p> <p>【学修方略（L S）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 イ 臨床操作</p> | 小林 平 村上 洋 大村 祐史 井下 繁子 北川 剛至 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 渡辺 官 増田 美樹子 加藤 由佳子 上里 ちひろ 三浦 千晶 中島 正 青山 峻 山本 貴雅 會田 雅啓 網野 雄太 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|-------------------------------|---|---|
| 2018/10/26 (金) 4時限 14:50～16:20 | 個人トレーの製作 精密印象採得 作業模型の製作 | d 印象採得 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 ⑤クラウンブリッジ製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。 ⑧クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。 ⑨研究用模型と作業用模型の製作方法を説明できる。 | 小林 平 村上 洋 大村 祐史 井下 田 繁子 北川 剛至 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 渡辺 官 増田 美樹子 加藤 由佳子 上里 ちひろ 三浦 千晶 中島 正 青山 峻 山本 貴雅 會田 雅啓 網野 雄太 |
| 2018/11/02 (金) 2時限 10:40～12:10 | 顎運動 咬合器 咬合採得 | 【授業の一般目標】 顎関節の構造を理解する。 咀嚼筋の種類と付着部位，作用について理解する。 顎運動，顎路，顎路傾斜角について理解する。 咬合器の種類と特徴について理解する。 顎運動と咬合器との関係について理解する。 フェイスボウトランスファー，チェックバイトについて理解する。 歯の咬合面形態と顎運動との関係について理解する。 咬合様式について理解する。 歯冠補綴における咬合採得法について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 顎関節の構造を述べることができる。 2. 咀嚼筋の種類と付着部位，作用について説明できる。 3. 顎運動，顎路，顎路傾斜角について説明できる。 4. 咬合器の種類と特徴について述べるができる。 5. 顎運動と咬合器との関係について説明できる。 6. フェイスボウトランスファー，チェックバイトについて述べるができる。 7. 歯の咬合面形態と顎運動との関係について説明できる。 8. 咬合様式について述べるができる。 9. 歯冠補綴における咬合採得法について述べるができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 顎関節の構造，咀嚼筋の種類と作用について学ぶ。 顎運動と咬合器との関係について学ぶ。 歯冠補綴物作製のための咬合採得法について学ぶ。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 マルチメディア 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 イ 臨床操作 f 顎間関係の記録 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 ⑧クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。 ⑨研究用模型と作業用模型の製作方法を説明できる。 ⑩平均値咬合器及び調節性咬合器の種類と特徴を説明できる。 | 田中 孝明 |
| 2018/11/02 (金) 3時限 13:10～14:40 | 作業模型の咬合器 付着 | 【授業の一般目標】 正確な作業模型を製作することができる。 作業模型製作に必要な器具，材料を適切に使用できる。 作業模型を正確に咬合器に付着できる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 正確な作業模型製作のための理論と注意点を説明できる。 2. 作業模型製作に必要な器具，材料を説明できる。 3. 作業模型を正確に咬合器に付着するための方法について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 正確な作業模型製作のための要件について学ぶ。 作業模型製作に必要な器具，材料について学ぶ。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 第5実習室 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 | 小林 平 村上 洋 大村 祐史 井下 田 繁子 北川 剛至 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 渡辺 官 増田 美樹子 加藤 由佳子 上里 ちひろ 三浦 千晶 中島 正 青山 峻 山本 貴雅 會田 雅啓 網野 雄太 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|-----------------------------------|---|--|
| 2018/11/02 (金) 3時限 13:10～14:40 | 作業模型の咬合器 付着 | 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 イ 臨床操作 f 顎間関係の記録 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(1) クラウンブリッジによる治療 ⑧クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。 ⑨研究用模型と作業用模型の製作方法を説明できる。 ⑩平均値咬合器及び調節性咬合器の種類と特徴を説明できる。 | 小林 平 村上 洋 大村 祐史 井下 繁子 北川 剛至 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 渡辺 官 増田 樹子 加藤 由佳子 上里 ちひろ 三浦 千晶 中島 正 青山 峻 山本 貴雅 會田 雅啓 網野 雄太 |
| 2018/11/02 (金) 4時限 14:50～16:20 | 作業模型の咬合器 付着 | 【授業の一般目標】 正確な作業模型を製作することができる。 作業模型製作に必要な器具、材料を適切に使用できる。 作業模型を正確に咬合器に付着できる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 正確な作業模型製作のための理論と注意点を説明できる。 2. 作業模型製作に必要な器具、材料を説明できる。 3. 作業模型を正確に咬合器に付着するための方法について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 正確な作業模型製作のための要件について学ぶ。 作業模型製作に必要な器具、材料について学ぶ。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 第5実習室 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 イ 臨床操作 f 顎間関係の記録 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(1) クラウンブリッジによる治療 ⑧クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。 ⑨研究用模型と作業用模型の製作方法を説明できる。 ⑩平均値咬合器及び調節性咬合器の種類と特徴を説明できる。 | 小林 平 村上 洋 大村 祐史 井下 繁子 北川 剛至 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 渡辺 官 増田 樹子 加藤 由佳子 上里 ちひろ 三浦 千晶 中島 正 青山 峻 山本 貴雅 會田 雅啓 網野 雄太 |
| 2018/11/09 (金) 2時限 10:40～12:10 | 【平常試験④】 (クラウンブリッジ補綴学)・解説 講義 | 【授業の一般目標】 クラウンの授業を理解する。 【準備学修項目と準備学修時間】 過去7回の講義内容から100問程度の筆記試験を行う。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 筆記試験 【学修方略 (LS)】 その他 【場所 (教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ア クラウンブリッジの設計 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(1) クラウンブリッジによる治療 ①クラウンブリッジの意義と具備条件を説明できる。 ②クラウンブリッジの種類、特徴及び製法 (CAD/CAM を含む) を説明できる。 ③支台築造の意義、種類及び特徴を説明できる。 ④支台歯形成の意義と方法を説明できる。 ⑤クラウンブリッジ製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。 ⑦プロビジョナルレストレーションの意義とその製法を説明できる。 ⑧クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。 ⑨研究用模型と作業用模型の製作方法を説明できる。 ⑩平均値咬合器及び調節性咬合器の種類と特徴を説明できる。 | 小林 平 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|---|---|---|
| 2018/11/09 (金) 3時限 13:10～14:40 | 作業模型の咬合器 付着 歯型の調整 | <p>【授業の一般目標】 正確な作業模型を製作することができる。 作業模型製作に必要な器具，材料を適切に使用できる。 作業模型を正確に咬合器に付着できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 正確な作業模型製作のための理論と注意点を説明できる。 2. 作業模型製作に必要な器具，材料を説明できる。 3. 作業模型を正確に咬合器に付着するための方法について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 正確な作業模型製作のための要件について学ぶ。 作業模型製作に必要な器具，材料について学ぶ。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 第5実習室</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ウ 技工操作 a ロストワックス法による製作</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4-（1）クラウンブリッジによる治療 ⑧クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。 ⑨研究用模型と作業用模型の製作方法を説明できる。 ⑩平均値咬合器及び調節性咬合器の種類と特徴を説明できる。</p> | 小林 平 村上 洋 大村 祐史 井下 田 繁子 北川 剛至 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 渡辺 官 増田 美樹子 加藤 由佳子 上里 ちひろ 三浦 千晶 中島 正 青山 峻 山本 貴雅 會田 雅啓 網野 雄太 |
| 2018/11/09 (金) 4時限 14:50～16:20 | 作業模型の咬合器 付着 歯型の調整 ワックスアップ （ロウ型採得） | <p>【授業の一般目標】 正確な作業模型を製作することができる。 作業模型製作に必要な器具，材料を適切に使用できる。 作業模型を正確に咬合器に付着できる。 ワックスアップに必要な器具および材料について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 正確な作業模型製作のための理論と注意点を説明できる。 2. 作業模型製作に必要な器具，材料を説明できる。 3. 作業模型を正確に咬合器に付着するための方法について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 正確な作業模型製作のための要件について学ぶ。 作業模型製作に必要な器具，材料について学ぶ。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 第5実習室</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ウ 技工操作 a ロストワックス法による製作</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4-（1）クラウンブリッジによる治療 ⑧クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。 ⑨研究用模型と作業用模型の製作方法を説明できる。 ⑩平均値咬合器及び調節性咬合器の種類と特徴を説明できる。</p> | 小林 平 村上 洋 大村 祐史 井下 田 繁子 北川 剛至 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 渡辺 官 増田 美樹子 加藤 由佳子 上里 ちひろ 三浦 千晶 中島 正 青山 峻 山本 貴雅 會田 雅啓 網野 雄太 |
| 2018/11/16 (金) 2時限 10:40～12:10 | ワックスアップ （ロウ型採得） FGPテクニック | <p>【授業の一般目標】 歯科用ワックスの種類と性質を理解する。 ろう型の要件について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 歯科用ワックスの種類と性質を述べるができる。 2. ろう型の要件について説明できる。 3. 埋没材および埋没法の種類，使用法について述べるができる。 4. 歯冠補綴物の鑄造収縮の補償について説明できる。 5. 鑄造欠陥の種類と原因について説明できる。 6. 研磨用機器，材料について述べるができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯科用ワックス，ろう型の要件について学ぶ。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> | 増田 美樹子 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|--------------------------------|---|--|
| 2018/11/16 (金) 2時限 10:40～12:10 | ワックスアップ (ロウ型採得) FGPテクニック | <p>マルチメディア</p> <p>【学修方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301 教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ウ 技工操作 a ロストワックス法による製作</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 ②クラウンブリッジの種類、特徴及び製作法 (CAD/CAM を含む) を説明できる。 ⑧クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。</p> | 増田 美樹子 |
| 2018/11/16 (金) 3時限 13:10～14:40 | ワックスアップ (ロウ型採得) | <p>【授業の一般目標】 ワックスアップに必要な器具および材料について理解する。 ワックスアップ法の種類と特徴について理解する。 生体に調和したワックスアップ法について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. ワックスアップに必要な器具および材料について述べるができる。 2. ワックスアップ法の種類と特徴について説明できる。 3. 生体に調和したワックスアップ法について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ワックスアップに必要な器具および材料について学ぶ。 ワックスアップ法の種類と特徴を学ぶ。 生体に調和したワックスアップ法を学ぶ。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 第5実習室</p> <p>【学修方略 (L S)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ウ 技工操作 a ロストワックス法による製作</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 ②クラウンブリッジの種類、特徴及び製作法 (CAD/CAM を含む) を説明できる。</p> | 小林 平 村上 洋 大村 祐史 井下田 繁子 北川 剛至 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 渡辺 官 増田 美樹子 加藤 由佳子 上里 ちひろ 三浦 千晶 中島 正 青山 峻 山本 貴雅 會田 雅啓 網野 雄太 |
| 2018/11/16 (金) 4時限 14:50～16:20 | ワックスアップ (ロウ型採得) | <p>【授業の一般目標】 ワックスアップに必要な器具および材料について理解する。 ワックスアップ法の種類と特徴について理解する。 生体に調和したワックスアップ法について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. ワックスアップに必要な器具および材料について述べるができる。 2. ワックスアップ法の種類と特徴について説明できる。 3. 生体に調和したワックスアップ法について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ワックスアップに必要な器具および材料について学ぶ。 ワックスアップ法の種類と特徴を学ぶ。 生体に調和したワックスアップ法を学ぶ。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 第5実習室</p> <p>【学修方略 (L S)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ウ 技工操作 a ロストワックス法による製作</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療</p> | 小林 平 村上 洋 大村 祐史 井下田 繁子 北川 剛至 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 渡辺 官 増田 美樹子 加藤 由佳子 上里 ちひろ 三浦 千晶 中島 正 青山 峻 山本 貴雅 會田 雅啓 網野 雄太 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|--------------------|---|---|
| 2018/11/16 (金) 4時限 14:50～16:20 | ワックスアップ (ロウ型採得) | E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 ②クラウンブリッジの種類、特徴及び製作法 (CAD/CAM を含む) を説明できる。 ⑧クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。 | 小林 平 村上 洋 大村 祐史 井下 田 繁子 北川 剛至 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 渡辺 官 増田 美樹子 加藤 由佳子 上里 ちひろ 三浦 千晶 中島 正 青山 峻 山本 貴雅 會田 雅啓 網野 雄太 |
| 2018/11/24 (土) 1時限 09:00～10:30 | ワックスアップ (ロウ型採得) | 【授業の一般目標】 ワックスアップに必要な器具および材料について理解する。 ワックスアップ法の種類と特徴について理解する。 生体に調和したワックスアップ法について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. ワックスアップに必要な器具および材料について述べるができる。 2. ワックスアップ法の種類と特徴について説明できる。 3. 生体に調和したワックスアップ法について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ワックスアップに必要な器具および材料について学ぶ。 ワックスアップ法の種類と特徴を学ぶ。 生体に調和したワックスアップ法を学ぶ。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 第5実習室 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ウ 技工操作 a ロストワックス法による製作 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 ②クラウンブリッジの種類、特徴及び製作法 (CAD/CAM を含む) を説明できる。 ⑧クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。 | 小林 平 村上 洋 大村 祐史 井下 田 繁子 北川 剛至 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 渡辺 官 増田 美樹子 加藤 由佳子 上里 ちひろ 三浦 千晶 中島 正 青山 峻 山本 貴雅 會田 雅啓 網野 雄太 |
| 2018/11/24 (土) 2時限 10:40～12:10 | ワックスアップ (ロウ型採得) | 【授業の一般目標】 ワックスアップに必要な器具および材料について理解する。 ワックスアップ法の種類と特徴について理解する。 生体に調和したワックスアップ法について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. ワックスアップに必要な器具および材料について述べるができる。 2. ワックスアップ法の種類と特徴について説明できる。 3. 生体に調和したワックスアップ法について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ワックスアップに必要な器具および材料について学ぶ。 ワックスアップ法の種類と特徴を学ぶ。 生体に調和したワックスアップ法を学ぶ。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 第5実習室 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ウ 技工操作 a ロストワックス法による製作 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 ②クラウンブリッジの種類、特徴及び製作法 (CAD/CAM を含む) を説明できる。 ⑧クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。 | 小林 平 村上 洋 大村 祐史 井下 田 繁子 北川 剛至 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 渡辺 官 増田 美樹子 加藤 由佳子 上里 ちひろ 三浦 千晶 中島 正 青山 峻 山本 貴雅 會田 雅啓 網野 雄太 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|--|--|---|
| 2018/11/24 (土) 2時限 10:40～12:10 | ワックスアップ (ロウ型採得) | | 小林 平 村上 洋 大村 祐史 井下 田 繁子 北川 剛至 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 渡辺 官 増田 美樹子 加藤 由佳子 上里 ちひろ 三浦 千晶 中島 正 青山 峻 山本 貴雅 會田 雅啓 網野 雄太 |
| 2018/11/30 (金) 2時限 10:40～12:10 | 埋没 鑄造 熱処理 研磨 | <p>【授業の一般目標】 埋没材および埋没法の種類、使用法について理解する。 歯冠補綴物の鑄造収縮の補償について理解する。 鑄造欠陥の種類と原因について理解する。 研磨用機器、材料について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 埋没材および埋没法の種類、使用法について述べることができる。 2. 歯冠補綴物の鑄造収縮の補償について説明できる。 3. 鑄造欠陥の種類と原因について説明できる。 4. 研磨用機器、材料について述べるができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 埋没材、鑄造および鑄造収縮、研磨用材料について学ぶ。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 マルチメディア</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ウ 技工操作 a ロストワックス法による製作</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 ②クラウンブリッジの種類、特徴及び製作法 (CAD/CAM を含む) を説明できる。 ⑧クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。</p> | 田中 孝明 |
| 2018/11/30 (金) 3時限 13:10～14:40 | ワックスアップ (ロウ型採得) 埋没 鑄造 研磨 試適 | <p>【授業の一般目標】 埋没操作を適切に行うことができる。 埋没操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 鑄造操作を適切に行うことができる。 鑄造操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 鑄造後の研磨操作が適切にできる。 研磨操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 クラウンの口腔内試適が適切にできる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 埋没操作を適切に行うことができる。 2. 埋没操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 3. 鑄造操作を適切に行うことができる。 4. 鑄造操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 5. 鑄造後の研磨操作が適切にできる。 6. 研磨操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 7. クラウンの口腔内試適、仮着、装着が適切にできる。 8. 仮着、装着に必要な器具および材料を適切に使用できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 埋没、鑄造、研磨、口腔内試適、仮着、装着の操作や手順について学ぶ。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 第5実習室</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ウ 技工操作 a ロストワックス法による製作</p> | 小林 平 村上 洋 大村 祐史 井下 田 繁子 北川 剛至 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 渡辺 官 増田 美樹子 加藤 由佳子 上里 ちひろ 三浦 千晶 中島 正 青山 峻 山本 貴雅 會田 雅啓 網野 雄太 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|--|---|---|
| 2018/11/30 (金) 3時限 13:10~14:40 | ワックスアップ (ロウ型採得) 埋没 鑄造 研磨 試適 | <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(1) クラウンブリッジによる治療 ②クラウンブリッジの種類、特徴及び製作法 (CAD/CAM を含む) を説明できる。 ⑧クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。</p> | 小林 平 村上 洋 大村 祐史 井下 田 繁子 北川 剛至 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 渡辺 官 増田 美樹子 加藤 由佳子 上里 ちひろ 三浦 千晶 中島 正 青山 峻 山本 貴雅 會田 雅啓 網野 雄太 |
| 2018/11/30 (金) 4時限 14:50~16:20 | 埋没 鑄造 研磨 試適 | <p>【授業の一般目標】 埋没操作を適切に行うことができる。 埋没操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 鑄造操作を適切に行うことができる。 鑄造操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 鑄造後の研磨操作が適切にできる。 研磨操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 クラウンの口腔内試適が適切にできる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 埋没操作を適切に行うことができる。 2. 埋没操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 3. 鑄造操作を適切に行うことができる。 4. 鑄造操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 5. 鑄造後の研磨操作が適切にできる。 6. 研磨操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 7. クラウンの口腔内試適、仮着、装着が適切にできる。 8. 仮着、装着に必要な器具および材料を適切に使用できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 埋没、鑄造、研磨、口腔内試適、仮着、装着の操作や手順について学ぶ。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 第5実習室</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ウ 技工操作 a ロストワックス法による製作</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科医療機器 (歯科材料・器械・器具) D-2 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法 ②歯冠修復・義歯用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(1) クラウンブリッジによる治療 ②クラウンブリッジの種類、特徴及び製作法 (CAD/CAM を含む) を説明できる。</p> | 小林 平 村上 洋 大村 祐史 井下 田 繁子 北川 剛至 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 渡辺 官 増田 美樹子 加藤 由佳子 上里 ちひろ 三浦 千晶 中島 正 青山 峻 山本 貴雅 會田 雅啓 網野 雄太 |
| 2018/12/07 (金) 2時限 10:40~12:10 | クラウンの口腔内 試適 仮着 装着 術後管理 | <p>【授業の一般目標】 クラウンの口腔内試適の手順について理解する。 仮着の目的、仮着用セメント、仮着期間、仮着期間中の観察項目について理解する。 合着用セメントの種類と性質について理解する。 術後管理の内容および重要性について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. クラウンの口腔内試適の手順を述べることができる。 2. 仮着の目的、仮着用セメント、仮着期間、仮着期間中の観察項目について説明できる。 3. 合着用セメントの種類と性質について述べるができる。 4. 接着性レジンセメントの接着理論について説明できる。 5. 術後管理の内容および重要性について述べるができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 クラウンの口腔内試適の手順、仮着の目的・セメント・期間・観察項目、合着用セメント、術後管理の重要性について学ぶ。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 マルチメディア</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> | 田中 孝明 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|------------------------------------|---|---|
| 2018/12/07 (金) 2時限 10:40～12:10 | クラウンの口腔内 試適 仮着 装着 術後管理 | <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 イ 臨床操作 i 装着</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 ⑪クラウンブリッジの装着方法を説明できる。 ⑫クラウンブリッジの維持管理の目的と方法を説明できる。 ⑬クラウンブリッジ装着後のメンテナンスの重要性を説明できる。</p> | 田中 孝明 |
| 2018/12/07 (金) 3時限 13:10～14:40 | 埋没 鑄造 研磨 仮着 合着 | <p>【授業の一般目標】</p> <p>埋没操作を適切に行うことができる。 埋没操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 鑄造操作を適切に行うことができる。 鑄造操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 鑄造後の研磨操作が適切にできる。 研磨操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 クラウンの口腔内試適、仮着、装着が適切にできる。 仮着、装着に必要な器具および材料を適切に使用することができる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 埋没操作を適切に行うことができる。 2. 埋没操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 3. 鑄造操作を適切に行うことができる。 4. 鑄造操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 5. 鑄造後の研磨操作が適切にできる。 6. 研磨操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 7. クラウンの口腔内試適、仮着、装着が適切にできる。 8. 仮着、装着に必要な器具および材料を適切に使用できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>埋没、鑄造、研磨、口腔内試適、仮着、装着の操作や手順について学ぶ。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>第5実習室</p> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ウ 技工操作 a ロストワックス法による製作</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 ⑪クラウンブリッジの装着方法を説明できる。 ⑫クラウンブリッジの維持管理の目的と方法を説明できる。 ⑬クラウンブリッジ装着後のメンテナンスの重要性を説明できる。</p> | 小林 平 村上 洋 大村 祐史 井下 田 繁子 北川 剛至 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 渡辺 官 増田 美樹子 加藤 由佳子 上里 ちひろ 三浦 千晶 中島 正 青山 峻 山本 貴雅 本會 雅啓 田網 野 雄太 |
| 2018/12/07 (金) 4時限 14:50～16:20 | 埋没 鑄造 研磨 仮着 合着 | <p>【授業の一般目標】</p> <p>埋没操作を適切に行うことができる。 埋没操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 鑄造操作を適切に行うことができる。 鑄造操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 鑄造後の研磨操作が適切にできる。 研磨操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 クラウンの口腔内試適、仮着、装着が適切にできる。 仮着、装着に必要な器具および材料を適切に使用することができる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 埋没操作を適切に行うことができる。 2. 埋没操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 3. 鑄造操作を適切に行うことができる。 4. 鑄造操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 5. 鑄造後の研磨操作が適切にできる。 6. 研磨操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 7. クラウンの口腔内試適、仮着、装着が適切にできる。 8. 仮着、装着に必要な器具および材料を適切に使用できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>埋没、鑄造、研磨、口腔内試適、仮着、装着の操作や手順について学ぶ。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>第5実習室</p> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>第5実習室</p> | 小林 平 村上 洋 大村 祐史 井下 田 繁子 北川 剛至 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 渡辺 官 増田 美樹子 加藤 由佳子 上里 ちひろ 三浦 千晶 中島 正 青山 峻 山本 貴雅 本會 雅啓 田網 野 雄太 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|--|--|--|
| 2018/12/07 (金) 4時限 14:50～16:20 | 埋没 鑄造 研磨 仮着 合着 | <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 イ 臨床操作 i 装着</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 ⑩クラウンブリッジの装着方法を説明できる。 ⑪クラウンブリッジの維持管理の目的と方法を説明できる。 ⑫クラウンブリッジ装着後のメンテナンスの重要性を説明できる。</p> | <p>小林 平 村上 洋 大村 祐史 井下 田 繁子 北川 剛至 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 渡辺 官 増田 美樹子 加藤 由佳子 上里 ちひろ 三浦 千晶 中島 正 青山 峻 山本 貴雅 會田 雅啓 網野 雄太</p> |
| 2018/12/14 (金) 2時限 10:40～12:10 | 治療計画の立案 医療面接と診察 各種検査項目 治療計画を左右する因子 評価と診断 感染予防対策 | <p>【授業の一般目標】</p> <p>治療計画の立案に必要な情報の収集について理解する。 医療面接および診察の意義と方法について理解する。 収集した情報に基づいて診断および治療計画が立案できる。 研究用模型とX線検査の重要性について理解できる。 クラウンブリッジ領域における感染予防対策について理解できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 治療計画の立案に必要な情報の収集ができる。 2. 医療面接および診察の意義と方法について説明できる。 3. 収集した情報に基づいて診断および治療計画が立案する。 4. 研究用模型とX線検査の重要性について説明できる。 5. クラウンブリッジ領域における感染予防対策について述べるができる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>クラウンの治療計画の立案に必要な情報およびその収集について学ぶ。 情報の重要性と評価法およびそれに基づく診断について学ぶ。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>マルチメディア</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 2 診察、検査、診断 エ 治療計画の立案</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 ⑩クラウンブリッジの意義と具備条件を説明できる。 F シミュレーション実習 (模型実習・相互演習 (実習)) F-3 基本的臨床技能 F-3-4) 歯質と歯の欠損の治療 ⑬補綴治療に必要な診断情報の収集し、それにもとづく治療計画と装置の設計ができる。</p> | <p>大村 祐史</p> |
| 2018/12/14 (金) 3時限 13:10～14:40 | 埋没 鑄造 研磨 仮着 合着 | <p>【授業の一般目標】</p> <p>埋没操作を適切に行うことができる。 埋没操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 鑄造操作を適切に行うことができる。 鑄造操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 鑄造後の研磨操作が適切にできる。 研磨操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 クラウンの口腔内試適、仮着、装着が適切にできる。 仮着、装着に必要な器具および材料を適切に使用することができる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 埋没操作を適切に行うことができる。 2. 埋没操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 3. 鑄造操作を適切に行うことができる。 4. 鑄造操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 5. 鑄造後の研磨操作が適切にできる。 6. 研磨操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 7. クラウンの口腔内試適、仮着、装着が適切にできる。 8. 仮着、装着に必要な器具および材料を適切に使用できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>埋没、鑄造、研磨、口腔内試適、仮着、装着の操作や手順について学ぶ。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>第5実習室</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>第5実習室</p> | <p>小林 平 村上 洋 大村 祐史 井下 田 繁子 北川 剛至 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 渡辺 官 増田 美樹子 加藤 由佳子 上里 ちひろ 三浦 千晶 中島 正 青山 峻 山本 貴雅 會田 雅啓 網野 雄太</p> |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|---|---|--|
| 2018/12/14 (金) 3時限 13:10～14:40 | 埋没 鑄造 研磨 仮着 合着 | <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ウ 技工操作 a ロストワックス法による製作</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科医療機器（歯科材料・器械・器具） D-2 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法 ②歯冠修復・義歯用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。</p> | 小林 平 村上 洋 大村 祐史 井下 田 繁子 北川 剛至 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 渡辺 官 増田 樹子 加藤 由佳子 上里 ちひろ 三浦 千晶 中島 正 青山 峻 山本 貴雅 會田 雅啓 網野 雄太 |
| 2018/12/14 (金) 4時限 14:50～16:20 | 埋没 鑄造 研磨 仮着 合着 | <p>【授業の一般目標】 埋没操作を適切に行うことができる。 埋没操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 鑄造操作を適切に行うことができる。 鑄造操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 鑄造後の研磨操作が適切にできる。 研磨操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 クラウンの口腔内試適、仮着、装着が適切にできる。 仮着、装着に必要な器具および材料を適切に使用することができる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 埋没操作を適切に行うことができる。 2. 埋没操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 3. 鑄造操作を適切に行うことができる。 4. 鑄造操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 5. 鑄造後の研磨操作が適切にできる。 6. 研磨操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 7. クラウンの口腔内試適、仮着、装着が適切にできる。 8. 仮着、装着に必要な器具および材料を適切に使用できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 埋没、鑄造、研磨、口腔内試適、仮着、装着の操作や手順について学ぶ。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 第5実習室</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 イ 臨床操作 i 装着</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(1) クラウンブリッジによる治療 ①クラウンブリッジの装着方法を説明できる。 ②クラウンブリッジの維持管理の目的と方法を説明できる。 ③クラウンブリッジ装着後のメンテナンスの重要性を説明できる。</p> | 小林 平 村上 洋 大村 祐史 井下 田 繁子 北川 剛至 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 渡辺 官 増田 樹子 加藤 由佳子 上里 ちひろ 三浦 千晶 中島 正 青山 峻 山本 貴雅 會田 雅啓 網野 雄太 |
| 2018/12/21 (金) 2時限 10:40～12:10 | 陶材焼付冠 レジン前装冠 オールセラミック クラウン レジンジャケット クラウン | <p>【授業の一般目標】 陶材焼付冠の特徴、適応症、禁忌症、製作法について理解する。 陶材と金属との結合機構について理解する。 レジン前装冠の特徴、適応症、禁忌症、製作法について理解する。 レジンと金属との維持機構について理解する。 オールセラミッククラウンの特徴、適応症、禁忌症、製作法について理解する。 レジンジャケットクラウンの特徴、適応症、禁忌症、製作法について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 陶材焼付冠の特徴、適応症、禁忌症、製作法について述べるることができる。 2. 陶材と金属との結合機構について説明できる。 3. レジン前装冠の特徴、適応症、禁忌症、製作法について述べるることができる。 4. レジンと金属との維持機構について説明できる。 5. オールセラミッククラウンの特徴、適応症、禁忌症、製作法について述べる ことができる。 6. レジンジャケットクラウンの特徴、適応症、禁忌症、製作法について述べる ことができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 審美性を備えたクラウンについて学ぶ。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 マルチメディア</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p> | 田中 孝明 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|---|--|---|
| 2018/12/21 (金) 2時限 10:40～12:10 | 陶材焼付冠 レジン前装冠 オールセラミック クラウン レジンジャケット クラウン | <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ア クラウンブリッジの設計</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 ②クラウンブリッジの種類、特徴及び製作法（CAD/CAM を含む）を説明できる。 ⑧クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。</p> | 田中 孝明 |
| 2018/12/21 (金) 3時限 13:10～14:40 | 埋没 鋳造 研磨 仮着 合着 | <p>【授業の一般目標】 埋没操作を適切に行うことができる。 埋没操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 鋳造操作を適切に行うことができる。 鋳造操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 鋳造後の研磨操作が適切にできる。 研磨操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 クラウンの口腔内試適、仮着、装着が適切にできる。 仮着、装着に必要な器具および材料を適切に使用することができる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 埋没操作を適切に行うことができる。 2. 埋没操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 3. 鋳造操作を適切に行うことができる。 4. 鋳造操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 5. 鋳造後の研磨操作が適切にできる。 6. 研磨操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 7. クラウンの口腔内試適、仮着、装着が適切にできる。 8. 仮着、装着に必要な器具および材料を適切に使用できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 埋没、鋳造、研磨、口腔内試適、仮着、装着の操作や手順について学ぶ。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 第5実習室</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ウ 技工操作 a ロストワックス法による製作</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 ②クラウンブリッジの種類、特徴及び製作法（CAD/CAM を含む）を説明できる。 ⑧クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。</p> | 小林 平 村上 洋 大村 祐史 井下 田 繁子 北川 剛至 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 渡辺 官 増田 美樹子 加藤 由佳子 上里 ちひろ 三浦 千晶 中島 正 青山 峻 山本 貴雅 會田 雅啓 網野 雄太 |
| 2018/12/21 (金) 4時限 14:50～16:20 | 埋没 鋳造 研磨 仮着 合着 | <p>【授業の一般目標】 埋没操作を適切に行うことができる。 埋没操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 鋳造操作を適切に行うことができる。 鋳造操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 鋳造後の研磨操作が適切にできる。 研磨操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 クラウンの口腔内試適、仮着、装着が適切にできる。 仮着、装着に必要な器具および材料を適切に使用することができる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 埋没操作を適切に行うことができる。 2. 埋没操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 3. 鋳造操作を適切に行うことができる。 4. 鋳造操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 5. 鋳造後の研磨操作が適切にできる。 6. 研磨操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 7. クラウンの口腔内試適、仮着、装着が適切にできる。 8. 仮着、装着に必要な器具および材料を適切に使用できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 埋没、鋳造、研磨、口腔内試適、仮着、装着の操作や手順について学ぶ。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 第5実習室</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論</p> | 小林 平 村上 洋 大村 祐史 井下 田 繁子 北川 剛至 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 渡辺 官 増田 美樹子 加藤 由佳子 上里 ちひろ 三浦 千晶 中島 正 青山 峻 山本 貴雅 會田 雅啓 網野 雄太 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|---|---|---|
| 2018/12/21 (金) 4時限 14:50～16:20 | 埋没 鑄造 研磨 仮着 合着 | 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ウ 技工操作 a ロストワックス法による製作 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 ②クラウンブリッジの種類、特徴及び製作法 (CAD/CAM を含む) を説明できる。 ⑧クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。 | 小林 平 村上 洋 大村 祐史 井下 田 繁子 北川 剛至 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 渡辺 官 増田 美樹子 加藤 由佳子 上里 ちひろ 三浦 千晶 中島 正 青山 峻 山本 貴雅 會田 雅啓 網野 雄太 |
| 2019/01/11 (金) 2時限 10:40～12:10 | 陶材焼付冠 レジン前装冠 オールセラミック クラウン レジンジャケット クラウン | 【授業の一般目標】 陶材焼付冠の特徴、適応症、禁忌症、製作法について理解する。 陶材と金属との結合機構について説明できる。 レジン前装冠の特徴、適応症、禁忌症、製作法について理解する。 レジンと金属との維持機構について理解する。 オールセラミッククラウンの特徴、適応症、禁忌症、製作法について理解する。 レジンジャケットクラウンの特徴、適応症、禁忌症、製作法について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 陶材焼付冠の特徴、適応症、禁忌症、製作法について述べるができる。 2. 陶材と金属との結合機構について説明できる。 3. レジン前装冠の特徴、適応症、禁忌症、製作法について述べるができる。 4. レジンと金属との維持機構について説明できる。 5. オールセラミッククラウンの特徴、適応症、禁忌症、製作法について述べる ことができる。 6. レジンジャケットクラウンの特徴、適応症、禁忌症、製作法について述べる ことができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 審美性を備えたクラウンについて学ぶ。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 マルチメディア 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ウ 技工操作 a ロストワックス法による製作 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 ②クラウンブリッジの種類、特徴及び製作法 (CAD/CAM を含む) を説明できる。 ⑧クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。 | 田中 孝明 |
| 2019/01/11 (金) 3時限 13:10～14:40 | 陶材焼付冠の製作 レジン前装冠の製 作 | 【授業の一般目標】 陶材の築盛操作に必要な器具、材料を適切に使用することができる。 陶材の築盛操作を適切に行うことができる。 前装用レジンの築盛操作に必要な器具、材料を適切に使用することができる。 前装用レジンの築盛操作を適切に行うことができる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 陶材の築盛操作に必要な器具、材料を適切に使用することができる。 2. 陶材の築盛操作を適切に行うことができる。 3. 前装用レジンの築盛操作に必要な器具、材料を適切に使用することができる。 4. 前装用レジンの築盛操作を適切に行うことができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 審美性を備えたクラウンについて学ぶ。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 第5実習室 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ウ 技工操作 a ロストワックス法による製作 【コアカリキュラム】 | 小林 平 村上 洋 大村 祐史 井下 田 繁子 北川 剛至 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 渡辺 官 増田 美樹子 加藤 由佳子 上里 ちひろ 三浦 千晶 中島 正 青山 峻 山本 貴雅 會田 雅啓 網野 雄太 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|-----------------------|--|---|
| 2019/01/11 (金) 3時限 13:10～14:40 | 陶材焼付冠の製作 レジン前装冠の製作 | E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 ②クラウンブリッジの種類、特徴及び製作法 (CAD/CAM を含む) を説明できる。 ⑥色調選択 (シェードテイキング) を説明できる。 ⑧クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。 | 小林 平 村上 洋 大村 祐史 井下 剛至 北川 繁子 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直史 内堀 聡史 渡辺 官 増田 美樹子 加藤 由佳子 上里 ちひろ 三浦 千晶 中島 正 青山 峻 山本 貴雅 會田 雅啓 網野 雄太 |
| 2019/01/11 (金) 4時限 14:50～16:20 | 陶材焼付冠の製作 レジン前装冠の製作 | 【授業の一般目標】 陶材の築盛操作に必要な器具, 材料を適切に使用することができる。 陶材の築盛操作を適切に行うことができる。 前装用レジンの築盛操作に必要な器具, 材料を適切に使用することができる。 前装用レジンの築盛操作を適切に行うことができる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 陶材の築盛操作に必要な器具, 材料を適切に使用することができる。 2. 陶材の築盛操作を適切に行うことができる。 3. 前装用レジンの築盛操作に必要な器具, 材料を適切に使用することができる。 4. 前装用レジンの築盛操作を適切に行うことができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 審美性を備えたクラウンについて学ぶ。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 第5実習室 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ウ 技工操作 a ロストワックス法による製作 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 ②クラウンブリッジの種類、特徴及び製作法 (CAD/CAM を含む) を説明できる。 ⑥色調選択 (シェードテイキング) を説明できる。 ⑧クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。 | 小林 平 村上 洋 大村 祐史 井下 剛至 北川 繁子 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直史 内堀 聡史 渡辺 官 増田 美樹子 加藤 由佳子 上里 ちひろ 三浦 千晶 中島 正 青山 峻 山本 貴雅 會田 雅啓 網野 雄太 |
| 2019/01/18 (金) 2時限 10:40～12:10 | 支台築造 | 【授業の一般目標】 無髄歯の特徴を理解する。 築造の意義について理解する。 築造法の種類について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 無髄歯の特徴を述べることができる。 2. 築造の意義について説明できる。 3. 築造法の種類について述べることができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 築造について学ぶ。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 マルチメディア 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 イ 臨床操作 c 支台築造 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 ③支台築造の意義、種類及び特徴を説明できる。 | 小林 平 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|-----------------------------------|---|---|
| 2019/01/18 (金) 3時限 13:10~14:40 | レジン築造 支台歯形成 | <p>【授業の一般目標】 築造操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 適切な築造操作ができる。 残存歯質の状態によって築造法を選択できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 築造操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 2. 適切な築造操作ができる。 3. 残存歯質の状態によって築造法を選択できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 築造について学ぶ。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 第5実習室</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 イ 臨床操作 c 支台築造</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 ③支台築造の意義、種類及び特徴を説明できる。</p> | 小林 平 村上 洋 大村 祐史 井下 繁子 北川 剛至 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 渡辺 官 増田 美樹子 加藤 由佳子 上里 ちひろ 三浦 千晶 中島 正 青山 峻 山本 貴雅 會田 雅啓 網野 雄太 |
| 2019/01/18 (金) 4時限 14:50~16:20 | レジン築造 支台歯形成 | <p>【授業の一般目標】 築造操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 適切な築造操作ができる。 残存歯質の状態によって築造法を選択できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 築造操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 2. 適切な築造操作ができる。 3. 残存歯質の状態によって築造法を選択できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 築造について学ぶ。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 第5実習室</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 イ 臨床操作 c 支台築造</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 ③支台築造の意義、種類及び特徴を説明できる。 ④支台歯形成の意義と方法を説明できる。</p> | 小林 平 村上 洋 大村 祐史 井下 繁子 北川 剛至 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 渡辺 官 増田 美樹子 加藤 由佳子 上里 ちひろ 三浦 千晶 中島 正 青山 峻 山本 貴雅 會田 雅啓 網野 雄太 |
| 2019/01/25 (金) 2時限 10:40~12:10 | 【平常試験⑤】 (クラウンブリッジ補綴学)・解説 講義 | <p>【授業の一般目標】 平常試験④以降の講義内容の理解度を検討する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 平常試験④以降の講義範囲より100程度の筆記試験を行う。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 筆記試験</p> <p>【学修方略 (LS)】 その他</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 イ 臨床操作 c 支台築造</p> <p>【コアカリキュラム】</p> | 小林 平 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|-----------------------------------|---|--|
| 2019/01/25 (金) 2時限 10:40～12:10 | 【平常試験⑤】 (クラウンブリッジ補綴学)・解説 講義 | E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 ②クラウンブリッジの種類、特徴及び製作法 (CAD/CAM を含む) を説明できる。 ③支台築造の意義、種類及び特徴を説明できる。 ④支台歯形成の意義と方法を説明できる。 ⑥色調選択 (シェードテイキング) を説明できる。 | 小林 平 |
| 2019/01/25 (金) 3時限 13:10～14:40 | インフォームド コンセント CAD/CAM冠 | 【授業の一般目標】 インフォームドコンセントの基本的な考え方について理解する。 インフォームドコンセントの成立要件について理解する。 インフォームドコンセントを普及させるための工夫について理解する。 説明文書、同意文書の記載上の注意点について理解できる。 【行動目標 (SBOs)】 1. インフォームドコンセントの基本的な考え方を説明できる。 2. インフォームドコンセントの成立要件について述べることができる。 3. インフォームドコンセントを普及させるための工夫について説明できる。 4. 説明文書、同意文書の記載上の注意点について述べるができる。 5. CAD/CAM冠の製作操作について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 インフォームドコンセントの重要性について学ぶ。 CAD/CAM冠の製作過程について学ぶ。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 マルチメディア 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ウ 技工操作 b CAD/CAMによる製作 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-1) 診察の基本 ⑧インフォームド・コンセントを説明できる。 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 ②クラウンブリッジの種類、特徴及び製作法 (CAD/CAM を含む) を説明できる。 ④支台歯形成の意義と方法を説明できる。 | 小林 平 |
| 2019/01/25 (金) 4時限 14:50～16:20 | 支台歯形成 CAD/CAM冠 | 【授業の一般目標】 適切なハンドピースの操作ができる 適切な支台歯形成のためのバーの選択ができる。 各種クラウンに適した支台歯形成ができる。 CAD/CAM冠の製作操作ができる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 適切なハンドピースの操作をする。 2. 適切な支台歯形成のためのバーの選択を行う。 3. 各種クラウンに適した支台歯形成の手順を記憶する。 4. CAD/CAM冠の製作操作ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 適切なハンドピースの操作ができる。 適切な支台歯形成のためのバーの選択ができる。 各種クラウンに適した支台歯形成の手順を確認する。 CAD/CAM冠の製作操作ができる。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 第5実習室 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 イ 臨床操作 b 支台歯形成 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 ④支台歯形成の意義と方法を説明できる。 | 小林 平 村上 洋 大村 祐史 井下田 繁子 北川 剛至 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 渡辺 官 増田 美樹子 加藤 由佳子 上里 千晶 中島 正 青山 峻 山本 貴雅 會田 雅啓 網野 雄太 |

顎口腔系の機能学

| | | |
|-----|----|------------------|
| 年次 | 学期 | 学修ユニット責任者 |
| 3年次 | 通年 | 小見山 道 (顎口腔機能治療学) |

| | |
|--------------------------|--|
| 学修ユニット 学修目標 (GIO) | 咬合・咀嚼障害の病因および病態の適切な診断とそれに伴う機能・形態・心理社会的障害の回復を目的とした治療計画の立案および処置を行うために必要な補綴学の顎口腔機能に関する基本的な知識を修得する。 |
| 担当教員 | 小見山 道、浅野 隆、鈴木 浩司、飯田 崇 |
| 教科書 | 歯科補綴学専門用語集第4版 日本補綴歯科学会編 医歯薬出版株式会社 |
| 評価方法 (EV) | 平常試験(平常試験①～⑥の平均:50%)、実習(補綴学導入・顎口腔系の機能学・有床義歯補綴学・クラウン補綴学における実習評価、実技試験およびPBLの評価など:50%)を最終評価とする。ただし、講義・実習それぞれ1/5以上欠席した場合、評価点は0-60点とする。また、講義・実習いずれかが合格点に達しない場合、評価点は60点未満とする。なお、平常試験の再試験は行わない。 |
| 学生への メッセージ オフィスアワー | 顎口腔系の機能学では、歯科補綴学を理解するうえで必須の基本用語を解説します。それらは全く初めての聞きなれない専門用語ですが、生涯使用する言葉となります。また、補綴物を機能的に生かすための基本的な解剖、生理の知識について解説します。 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|------------|--|--------------------------------|
| 2018/04/13 (金) 1時限 09:00～10:30 | 下顎運動の機能と解剖 | <p>【授業の一般目標】 適切な咬合・咀嚼障害の診断と機能回復を目的とした治療計画の立案および処置が行えるために必要な補綴学に関する知識を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 下顎運動と歯列・顎関節・咀嚼筋・靭帯の関連について説明できる 2. 下顎の限界運動について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 下顎運動と歯列・顎関節・咀嚼筋・靭帯の関連 下顎の限界運動 準備学習時間: 30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有: 事前に講義資料を提示し反転授業を行う</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 ウ 頭頸部の筋系 b 咀嚼筋</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ③咀嚼筋、表情筋及び前頸筋の構成と機能を説明できる。</p> | 小見山 道 鈴木 浩司 浅野 隆 飯田 崇 |
| 2018/04/20 (金) 1時限 09:00～10:30 | 咬合と下顎位1 | <p>【授業の一般目標】 適切な咬合・咀嚼障害の診断と機能回復を目的とした治療計画の立案および処置が行えるために必要な補綴学に関する知識・技能および態度を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 下顎位の名称を挙げ説明できる。 2. 下顎運動および咬合に関わる基本的用語を挙げ説明できる。 3. 下顎運動の基準となる基準点・基準面を列挙し説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 下顎位の名称 下顎運動および咬合に関わる基本的用語 下顎運動の基準点・基準面 準備学習時間: 30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有・事前に講義資料を配布し反転授業を行う。</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 6 口腔・顎顔面の機能</p> | 小見山 道 鈴木 浩司 浅野 隆 飯田 崇 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|--------------|---|--|
| 2018/04/20 (金) 1時限 09:00～10:30 | 咬合と下顎位 1 | イ 運動 b 顎関節、下顎位、下顎運動 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ⑦下顎の随意運動と反射を説明できる。 | 小見山 道 鈴木 浩司 浅野 隆 飯田 崇 |
| 2018/04/27 (金) 1時限 09:00～10:30 | 咬合と下顎位 2 | 【授業の一般目標】 適切な咬合・咀嚼障害の診断と機能回復を目的とした治療計画の立案および処置が行えるために必要な補綴学に関する知識・技能および態度を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 下顎位の名称を挙げ説明できる。 2. 下顎運動および咬合に関わる基本的用語を挙げ説明できる。 3. 下顎運動の基準となる基準点・基準面を列挙し説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 下顎位の名称 下顎運動および咬合に関わる基本的用語 下顎運動の基準点・基準面 準備学習時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有・事前に資料を配布し反転授業を検討する。 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 301教室、第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 6 口腔・顎顔面の機能 イ 運動 b 顎関節、下顎位、下顎運動 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ⑦下顎の随意運動と反射を説明できる。 | 川良 美佐雄 小見山 道 鈴木 浩司 浅野 隆 飯田 崇 |
| 2018/05/11 (金) 1時限 09:00～10:30 | 咬合と下顎運動の決定要素 | 【授業の一般目標】 適切な咬合・咀嚼障害の診断と機能回復を目的とした治療計画の立案および処置が行えるために必要な補綴学に関する知識・技能および態度を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 下顎運動および咬合に関わる基本的用語を挙げ説明できる。 2. 下顎運動の基準となる基準点・基準面を列挙し説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 下顎運動および咬合に関わる基本的用語、下顎運動の基準となる基準点・基準面：30分 コンパスと定規を持参する 準備学習時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有・下顎運動に関連する演習を行う。 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 301教室、第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 6 口腔・顎顔面の機能 イ 運動 b 顎関節、下顎位、下顎運動 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ⑧咀嚼の意義と制御機構を説明できる。 | 小見山 道 浅野 隆 鈴木 浩司 飯田 崇 |
| 2018/05/18 (金) 1時限 09:00～10:30 | 咬合の概念 | 【授業の一般目標】 適切な咬合・咀嚼障害の診断と機能回復を目的とした治療計画の立案および処置が行えるために必要な補綴学に関する知識・技能および態度を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 咬合様式を挙げ説明できる。 2. 咬合器の目的を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 咬合様式の名称と内容 | 小見山 道 鈴木 浩司 浅野 隆 飯田 崇 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|-----------|---|--------------------------------|
| 2018/05/18 (金) 1時限 09:00～10:30 | 咬合の概念 | <p>咬合器の目的 準備学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有・事前に講義資料を配布し反転授業を行う</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅳ 主要症候 2 口腔・顎顔面の症候 ウ 歯列、咬合</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-2) 口腔領域の構造と機能 ④歯列と咬合を説明できる。</p> | 小見山 道 鈴木 浩司 浅野 隆 飯田 崇 |
| 2018/05/25 (金) 1時限 09:00～10:30 | 顎機能の検査（1） | <p>【授業の一般目標】 適切な咬合・咀嚼障害の診断と機能回復を目的とした治療計画の立案および処置が行えるために必要な補綴学に関する知識・技能および態度を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 下顎運動の検査方法を挙げ説明できる。 2. 咬合診査の方法を挙げ説明できる。 3. 下顎運動にかかわる筋機能検査の方法を挙げ説明できる。 4. 咀嚼機能の検査方法を挙げ説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 下顎運動の検査方法 咬合診査の方法 下顎運動にかかわる筋機能検査の方法 咀嚼機能の検査方法 準備学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有・事前に資料を配布し反転授業を検討する。</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 2 診察、検査、診断 イ 検査と評価 b 機能的評価</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (11) 口腔・顎顔面領域の機能障害 ①咬合異常による障害と咀嚼障害の原因、診察、検査、診断及び治療方針を説明できる。</p> | 小見山 道 鈴木 浩司 浅野 隆 飯田 崇 |
| 2018/06/01 (金) 1時限 09:00～10:30 | 顎機能の検査（2） | <p>【授業の一般目標】 適切な咬合・咀嚼障害の診断と機能回復を目的とした治療計画の立案および処置が行えるために必要な補綴学に関する知識・技能および態度を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 顎関節・筋機能検査を説明できる。 2. 咬合力・咬合接触面積・接触点の検査を説明できる。 3. 舌運動・舌圧の検査を説明できる。 4. 鼻咽腔閉鎖機能検査を説明できる。 5. 構音機能検査を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 顎関節・筋機能検査 咬合力・咬合接触面積・摂食点の検査 舌運動・舌圧の検査 鼻咽腔閉鎖機能検査 構音機能検査 準備学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有・事前に資料配布を行い反転授業を検討する。</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> | 小見山 道 鈴木 浩司 浅野 隆 飯田 崇 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|--|--|--------------------------------|
| 2018/06/01 (金) 1時限 09:00～10:30 | 顎機能の検査 (2) | 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 2 診察、検査、診断 イ 検査と評価 b 機能的評価 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (11) 口腔・顎顔面領域の機能障害 ①咬合異常による障害と咀嚼障害の原因、診察、検査、診断及び治療方針を説明できる。 | 小見山 道 鈴木 浩司 浅野 隆 飯田 崇 |
| 2018/06/08 (金) 1時限 09:00～10:30 | 【平常試験②】 顎 口腔系の機能学 (9:10～10:00) および解説講義 (10:00～) | 【授業の一般目標】 顎口腔系の機能学の座学の範囲に関する知識を修得する 【行動目標 (SBOs)】 1. 顎口腔系の機能学のSBOsすべて 【準備学修項目と準備学修時間】 顎口腔系の機能学の座学の範囲 準備学習時間：180分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無 【学修方略 (LS)】 その他 【場所 (教室/実習室)】 301教室、第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 6 口腔・顎顔面の機能 イ 運動 b 顎関節、下顎位、下顎運動 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅳ 主要症候 2 口腔・顎顔面の症候 ウ 歯列、咬合 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ③咀嚼筋、表情筋及び前頸筋の構成と機能を説明できる。 ⑥顎関節の構造と機能を説明できる。 ⑦下顎の随意運動と反射を説明できる。 ⑧咀嚼の意義と制御機構を説明できる。 E-2-2) 口腔領域の構造と機能 ④歯列と咬合を説明できる。 | 小見山 道 鈴木 浩司 浅野 隆 飯田 崇 |